



# 平成31年度 センターニュース



2020, No.33

室蘭工業大学  
地方創生研究開発センター

# — 目 次 —

挨拶と地域連携活動の報告	1
地方創生研究開発センター長 吉成 哲	
1. 産学連携体制(平成31年度)	2
2. 事業実績	3
3. 事業活動	8
4. 地方創生研究開発センター研究協力会	
役員名簿	20
加入企業	21
5. 資料	
新聞記事	31

## 表紙写真

上左：令和元年度地方創生研究開発センター研究協力会役員会および総会 令和元年7月10日（10頁）

上右：北洋銀行ものづくりテクノフェア2019 令和元年7月25日（17頁）

下左：イノベーションジャパン2019～大学見本市&ビジネスマッチング 令和元年8月29日～30日（17頁）

下右：ビジネスEXP02019「第33回北海道技術・ビジネス交流会」 令和元年11月7日～8日（18頁）

## 挨拶と地域連携活動の報告

地方創生研究開発センター長  
吉成 哲

日頃より、地方創生研究開発センター（CRDセンター）の取組にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、「社会連携統括本部」の産学官連携、知的財産、教育社会連携の3部門を再編し、産学官金連携と事業化促進支援、知的財産分野を合わせて新たにCRDセンターが担い、地域教育・連携センターおよびクリエイティブコラボレーションセンターと連携する体制に移行してから2年目を迎えました。大学の組織力をもって産学官金連携による研究活動や地域貢献をマネジメントしていく仕組みが動き始めているところです。

本学は、2019年度、北海道の自然を活かす知識・技術及び情報技術の力を備えた、産業の将来を担う人材を育成するため、工学部から理工学部へと改組しました。この改組を機に、国や北海道が定める計画・戦略の実現に向け、本学がどのように貢献していくのか、その役割を明確にするため、「北海道MONOづくりビジョン2060」を策定しました。ビジョンの実現に向け、「情報化されたMONOづくり」をキーワードに、現在、クリエイティブコラボレーションセンターでは、本学を代表する8つのラボ、「地域協働AIラボ」、「先端ネットワークシステムラボ」、「北海道マテリオームラボ」、「スーパーマルチキャストイングアロイラボ」、「アーバンインフォマティクスラボ」、「構造物減災リサーチラボ」、「自然災害・防災技術リサーチラボ」、「災害廃棄物リサーチラボ」が活動しています。CRDセンターはソリューションを担うラボ群と連携したリエゾン活動を行っています。

また、平成5年に組織されたCRDセンター研究協力会の会員企業も76社となり、そのご支援を受けて予備試験段階の研究を対象とするプレ共同研究や、本学との共同研究費の一部を補助する共同研究助成事業を推進しています。地域企業や協力会会員企業の皆様にはより一層ご活用いただければ幸いです。

そのほか、本学では「組織と組織」の総合力を集めた包括的連携を推進するため、地域を代表する企業や自治体等との包括協定を締結しています。また、本学の教員を含む研究グループが設立した企業を「室工大発ベンチャー」として認定しました。

以上のような、様々な企業、団体との協働を通じて、研究成果をいち早く事業化や地域貢献に結びつけたいと考えております。是非CRDセンターをワンストップ窓口としてご利用下さい。

昨今、新型コロナウイルスの影響により、先行き不透明な状況が続いており、経済や雇用への影響が心配されております。ウィズコロナ、ポストコロナを踏まえ、これまで以上に本学と地域・産業とをつなぐ活動の強化を図り、本学の「知」が各分野で活用されるよう尽力する所存でございます。引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 1. 産学連携体制(平成31年度)

## 【センター長】

吉成 哲 (もの創造系領域 教授)

## 【准教授】

柴田 義光 (もの創造系領域 准教授)

## 【URA】

富谷 信之

## 【事務補佐員】

高橋 美香

## 【コーディネーター】

石坂 淳二 (学外協力員)

## 【兼任教員】

### (産学官金連携部門)

山中 真也	くらし環境系領域
長谷川 靖	くらし環境系領域
高瀬 裕也	くらし環境系領域
中津川 誠	くらし環境系領域
河合 秀樹	もの創造系領域
相津 佳永	もの創造系領域
北沢 祥一	もの創造系領域
安藤 哲也	もの創造系領域
磯田 広史	もの創造系領域
塩谷 浩之	しくみ情報系領域
工藤 康生	しくみ情報系領域
長谷川 弘治	しくみ情報系領域
関根 ちひろ	しくみ情報系領域
高橋 雅朋	ひと文化系領域
前田 潤	ひと文化系領域
小野 真嗣	ひと文化系領域
濱 幸雄	環境科学・防災研究センター
内海 政春	航空宇宙機システム研究センター
朴 峻秀	環境・エネルギーシステム材料研究機構
葛谷 俊博	環境調和材料工学研究センター

### (事業化促進支援部門)

濱 幸雄	くらし環境系領域
相津 佳永	もの創造系領域
塩谷 浩之	しくみ情報系領域
クラウゼ 小野	ひと文化系領域

## 【産学官連携支援室】

小笠原 光敏 (公財) 室蘭テクノセンター



## 2. 事業実績

### 2-1. 民間等との共同研究

No.	大学側研究代表者			件数
1	もの創造系領域	特任教授	岸 徳光	1
2	もの創造系領域	教授	佐藤 孝紀	4
3	もの創造系領域	教授	相津 佳永	2
4	もの創造系領域	教授	今井 良二	1
5	もの創造系領域	教授	内海 政春	1
6	もの創造系領域	教授	佐伯 功	3
7	もの創造系領域	教授	清水 一道	16
8	もの創造系領域	教授	辻 寧英	1
9	もの創造系領域	教授	寺本 孝司	1
10	もの創造系領域	教授	花島 直彦	1
11	もの創造系領域	教授	濱 幸雄	4
12	もの創造系領域	教授	樋口 健	1
13	もの創造系領域	教授	藤木 裕行	1
14	もの創造系領域	教授	水上 雅人	1
15	もの創造系領域	准教授	梶原 秀一	1
16	もの創造系領域	准教授	小室 雅人	2
17	もの創造系領域	准教授	菅田 紀之	1
18	もの創造系領域	准教授	境 昌宏	3
19	もの創造系領域	准教授	柴田 義光	1
20	もの創造系領域	准教授	廣田 光智	1
21	もの創造系領域	助教	中里 直史	3
22	もの創造系領域	助教	中田 大将	1
23	もの創造系領域	講師	長船 康裕	1
24	もの創造系領域	講師	松本 大樹	1

No.	大学側研究代表者			件数
25	しくみ解明系領域	特任教授	岸上 順一	4
26	しくみ解明系領域	教授	板倉 賢一	2
27	しくみ解明系領域	教授	大平 勇一	2
28	しくみ解明系領域	教授	亀川 厚則	2
29	しくみ解明系領域	教授	塩谷 浩之	2
30	しくみ解明系領域	教授	中野 博人	1
31	しくみ解明系領域	准教授	安藤 哲也	2
32	しくみ解明系領域	准教授	上井 幸司	2
33	しくみ解明系領域	准教授	神田 康晴	2
34	しくみ解明系領域	准教授	倉重 健太郎	1
35	しくみ解明系領域	准教授	柴山 義行	1
36	しくみ解明系領域	准教授	徳樂 清孝	2
37	しくみ解明系領域	准教授	馬渡 康輝	1
38	しくみ解明系領域	准教授	安居 光國	1
39	しくみ解明系領域	准教授	山中 真也	1
40	しくみ解明系領域	准教授	渡邊 真也	3
41	しくみ解明系領域	助教	小林 洋介	1

## 2-2. 民間等からの受託研究

No.	大学側研究代表者			件数
1	もの創造系領域	特任教授	岸 徳光	1
2	もの創造系領域	教授	上羽 正純	1
3	もの創造系領域	教授	北沢 祥一	2
4	もの創造系領域	教授	中津川 誠	2
5	もの創造系領域	教授	吉成 哲	1
6	もの創造系領域	准教授	有村 幹治	3
7	もの創造系領域	准教授	市村 恒士	1
8	もの創造系領域	准教授	境 昌宏	2
9	もの創造系領域	准教授	後藤 芳彦	1
10	もの創造系領域	准教授	高瀬 裕也	2
11	もの創造系領域	准教授	成田 幸仁	1
12	もの創造系領域	准教授	廣田 光智	1
13	もの創造系領域	准教授	吉田 英樹	3
14	もの創造系領域	講師	松本 大樹	1
15	しくみ解明系領域	特任教授	岸上 順一	1
16	しくみ解明系領域	教授	亀川 厚則	1
17	しくみ解明系領域	教授	岸本 弘立	1
18	しくみ解明系領域	教授	平井 伸治	1
19	しくみ解明系領域	准教授	上井 幸司	1
20	しくみ解明系領域	准教授	徳樂 清孝	4
21	しくみ解明系領域	准教授	安居 光國	1
22	しくみ解明系領域	准教授	山中 真也	1
23	しくみ解明系領域	助教	金沢 新哲	1
24	しくみ解明系領域	助教	小林 洋介	2

## 2-3. プレ共同研究

### 1回目

No.	研究題目	大学側研究組織	民間機関等研究組織
1	非破壊検査用媒体の開発	※しくみ解明系領域 准教授 馬渡 康輝	日鋼検査サービス㈱ 副主任 森元 雄大

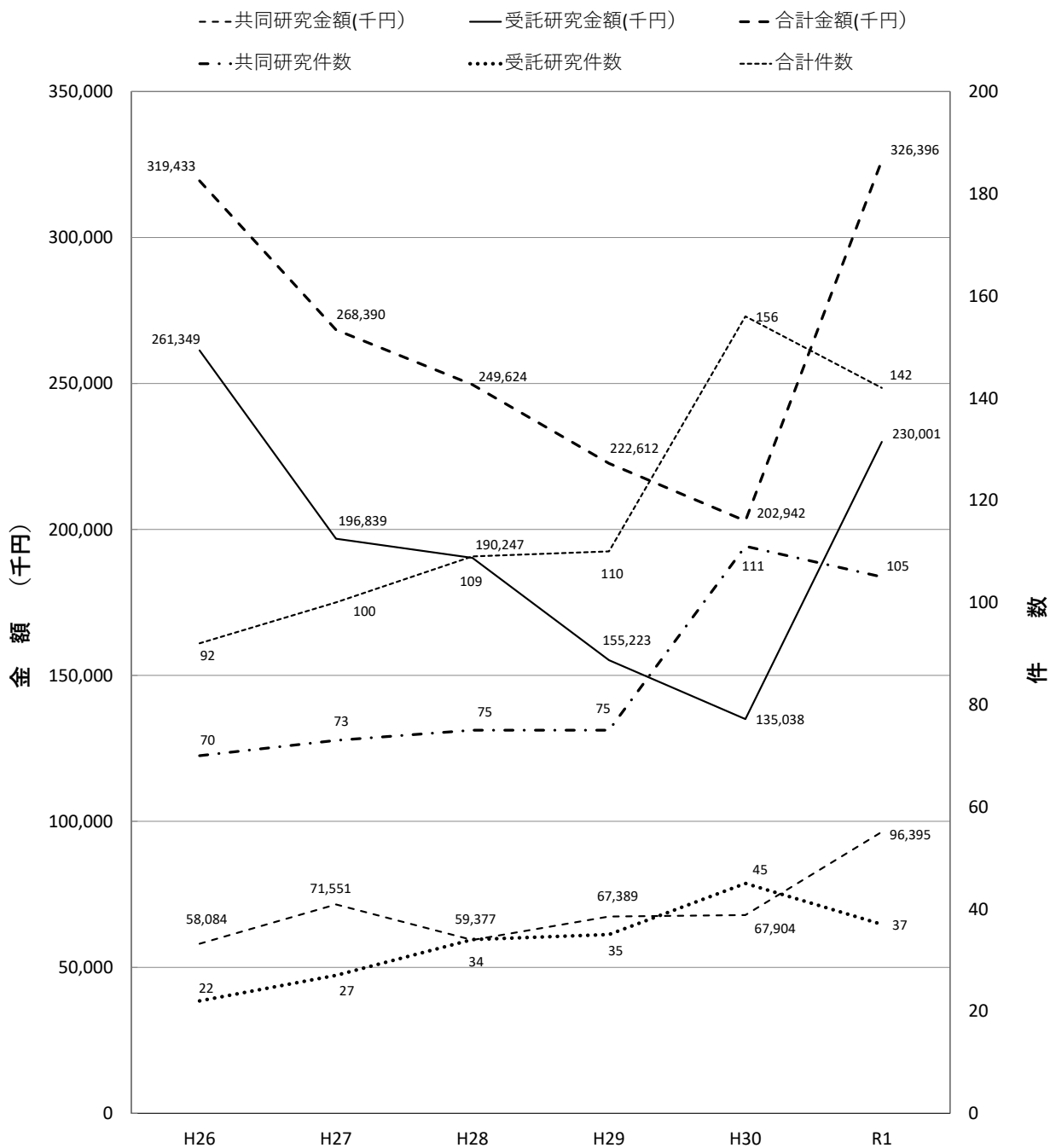
### 2回目

No.	研究題目	大学側研究組織	民間機関等研究組織
1	新しい希土類硝子の小樽切子への展開	※しくみ解明系領域 准教授 葛谷俊博	(株)深川硝子工芸 代表取締役社長 出口 健太
2	DBCコーティングによる鉄鋼材料の表面改質に関する研究	※もの創造系領域 助教 楠本 賢太	(株)DBCシステム研究所 セクションマネージャー 加藤 泰道

※は研究代表者

## 民間等との共同研究及び受託研究の件数と金額の推移

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
共同研究金額(千円)	58,084	71,551	59,377	67,389	67,904	96,395
受託研究金額(千円)	261,349	196,839	190,247	155,223	135,038	230,001
合計金額 (千円)	319,433	268,390	249,624	222,612	202,942	326,396
共同研究件数	70	73	75	75	111	105
受託研究件数	22	27	34	35	45	37
合計件数	92	100	109	110	156	142



## 3. 事業活動（平成 31 年度）

### 1. 研究の活性化、共同研究の推進（10P～11P）

- (1) 研究協力会役員会および総会
- (2) 令和元年度プレ共同研究（3 件）
- (3) 「組織」対「組織」の共同研究の構築・推進
- (4) 民間等との共同研究に対する推進支援
- (5) 技術相談

### 2. 外部資金獲得、研究シーズの紹介・活動（11P）

- (1) 企業訪問（42 社）
- (2) 同窓会札幌支部総会
- (3) 同窓会水元技術士会特別講演会
- (4) 電気計装エンジニアリング研修会
- (5) JST 産連事業広聴会（北海道・東北地区）
- (6) 同窓会小樽支部総会特別講演会
- (7) とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会

### 3. セミナー、研修会、交流会の開催（11P～13）

- (1) MOT（技術経営）実践講座
- (2) 高度技術セミナー
- (3) フロンティア技術検討会
- (4) 苫小牧地域産学官金連携セミナー
- (5) 日本機械学会シニア会「科学と技術に関する公開講座」
- (6) 日本鑄造工学会北海道支部セミナー

### 4. 他機関との連携活動（13P～17P）

- (1) コーディネーター会議（11 回）
- (2) 産学交流プラザ「創造」（10 回）
- (3) 北のものづくり総合技術交流会（17 回）
- (4) HiNT 協議会・連絡会・セミナー（12 回）
- (5) 北海道経済連合会産学連携会議
- (6) 北海道医療福祉産業研究会
- (7) 北海道自動車産業集積促進協議会
- (8) 苫小牧地域産学官金連携実行委員会
- (9) (独) 北海道立総合研究機構との包括連携に基づく活動
- (10) コラボ産学官(総会、講演会)
- (11) 北海道航空ビジネス検討会幹事会
- (12) 科学技術振興に関する「室蘭・苫小牧地域懇談会」
- (13) 北海道科学技術審議会
- (14) 国立大学法人共同研究センター等教員会議
- (15) 国立大学法人共同研究センター長等会議
- (16) 全道産学官ネットワーク推進協議会

### 5. 各種展示会への出展（17P～18P）

- (1) 北洋銀行ものづくりテクノフェア 2019
- (2) イノベーション・ジャパン 2019
- (3) メッセナゴヤ 2019
- (4) ビジネス EXP02019「第 32 回 北海道 技術・ビジネス交流会」



(5) 学内教員の展示会出展支援

**6. 他機関主催事業への参加（ニーズ・情報の収集活動）（18P～19P）**

- (1) 技術移転フォーラム 2019 工業試験場成果発表会
- (2) 北海道ブロック公和会交流会
- (3) 北海道産学官連携シンポジウム参加
- (4) 令和元年度スマート農業マッチングイベント&農研機構マッチングフォーラム in 北海道
- (5) オープンイノベーションチャレンジピッチ in 北海道
- (6) SCOPE 公募説明会
- (7) 道総研オープンフォーラム

**7. 広報（19P）**

- (1) 研究シーズ集の内容更新と刊行
- (2) 定期刊行物(2件)

## 1. 研究の活性化、共同研究の推進 (5 件)

### (1) 研究協力会役員会および総会

#### 【議 題】

1. 平成 30 年度活動・決算報告
2. 平成 31 年度事業計画 (案)、予算 (案) 等を協議

#### 【特別講演 I】

講 師：室蘭工業大学 もの創造系領域 ロボティクスユニット 教授 水上 雅人  
演 題：「ロボットアリーナを窓口としたプレ共同研究について  
-インフラ設備点検・保守自動化技術の応用展開-

#### 【特別講演 II】

講 師：室蘭工業大学 しくみ解明系領域 知能情報学ユニット 准教授 渡邊 真也  
演 題：「プレ共同研究報告 -超音波探傷検査におけるきず自動検出システムの実現-

#### 【ポスター発表】

室蘭工業大学教員 9 名

#### 「鉄鋼材料の合金設計」

もの創造系領域 機械工学ユニット 助教 楠本 賢太

#### 「インフラ設備点検自動化のためのマイクロロボット構成技術」

もの創造系領域 ロボティクスユニット 教授 水上 雅人

#### 「物体把持・操作性能の向上を目指した多層構造ソフトフィンガーの開発」

もの創造系領域 ロボティクスユニット 助教 藤平 祥孝

#### 「超音波を援用した燃焼制御装置」

#### 「表面改質をともなう消火装置」

もの創造系領域航空宇宙システム工学ユニット 准教授 廣田 光智

#### 「大きな磁気光学効果を示す液体とその光デバイス応用」

しくみ解明系領域 物質化学ユニット 准教授 飯森 俊文

#### 「環境保全のための触媒の開発」

しくみ解明系領域 物質化学ユニット 准教授 神田 康晴

#### 「分子レベルで設計する機能性ポリマー材料の開発」

しくみ解明系領域 物質化学ユニット 准教授 馬渡 康輝

#### 「水産加工品製造時に副生する魚油の活用法の開発のための基礎データの取得」

しくみ解明系領域 化学生物工学ユニット 准教授 上井 幸司

#### 「多目的最適化および その解分析に関する研究」

しくみ解明系領域 知能情報学ユニット 准教授 渡邊 真也

#### 【情報交換会】

日 時：令和元年 7 月 10 日 (水) 17:30~19:00

場 所：中嶋神社 蓬峯殿 (室蘭市)

参加者：58 名

### (2) 令和元年度プレ共同研究 (採択) (3 件)

#### ① 募集日：令和元年 7 月 22 日 (月)

「非破壊検査用媒体の開発」

しくみ解明系領域 准教授 馬渡 康輝

#### ② 募集日：令和 2 年 1 月 10 日 (金)

「新しい希土類硝子の小樽切子への展開」

しくみ解明系領域 准教授 葛谷 俊博

「DBC コーティングによる鉄鋼材料の表面改質に関する研究」

もの創造系領域 助教 楠本 賢太

### (3) 「組織」対「組織」の共同研究の構築・推進

(4) 民間等との共同研究に対する推進支援

(5) 技術相談

24 件

## **2. 外部資金獲得、研究シーズの紹介・活動（7 件）**

(1) 企業訪問（42 社）

(2) 同窓会札幌支部総会

テーマ：北海道から民間初の宇宙空間到達

講師：インターステラテクノロジズ(株) 堀尾 宗平（平成 27 年宇宙航空卒）

日時：令和元年 6 月 28 日（金）17：00～18：50

場所：ホテルポールスター札幌

(3) 同窓会水元技術士会特別講演会

テーマ：「科学技術で室蘭から世界へ」～展望と野望～

講師：室蘭工業大学大学院工学研究科 准教授 高瀬 舞

日時：令和元年 7 月 12 日（金）18：00～20：45

場所：ホテル札幌ガーデンパレス 4 階 「真珠」

(4) 電気計装エンジニアリング研修会

開催日：令和元年 8 月 8 日（木）

場所：日鉄テックスエンジニア(株)

(5) JST 産連事業広聴会（北海道・東北地区）

日時：令和元年 10 月 9 日（水）13:00～16:30

場所：TKP 仙台カンファレンスセンター・ホール 3A

(6) 同窓会小樽支部総会特別講演会

テーマ：「天・地・人」次世代災害支援システム

講師：しくみ解明系領域知能情報学ユニット 教授 董 冕雄

日時：令和元年 10 月 26 日 17:10～18:00

場所：ニュー三幸（小樽市）

(7) とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会

「大学等の技術シーズに関するプレゼンテーション」

テーマ：From Space to Ground:Connected cars in 6G Era

講師：室蘭工業大学 しくみ解明系領域情報システムユニット 准教授 太田 香

開催日：令和 2 年 1 月 30 日（木）

場所：トヨタ自動車(株) 本社 本館ホール内

## **3. セミナー、研修会、交流会の開催（6 件）**

(1) MOT（技術経営）実践講座

主催：室蘭工業大学地域連携教育センター

共催：室蘭工業大学地方創生研究開発センター

場所：室蘭工業大学 J107 講義室

① 日時：令和元年 6 月 24 日（月）16：15～17：45

講師：ムラタオフィス(株) 代表 村田 利文

演題：「IT 系スタートアップの技術経営」

② 日時：令和元年 7 月 1 日（月）16：15～17：45

- 講師：伊藤組土建(株) 執行役員 営業本部副本部長(兼)企画開発担当 田中 輝幸  
 演題：「建設産業における技術経営」
- ③日時：令和元年7月8日(月)16:15~17:45  
 講師：精電舎電子工業(株) 取締役会長 本多 助重  
 演題：「ものづくり分野の技術経営」
- ④開催日：令和元年7月22日(月)16:15~17:45  
 講師：北海道曹達(株) 企画・管理本部企画部市場開発室長 境 勝義  
 演題：「バイオテクノロジー分野の技術経営」

(2)機械工業会&室蘭工大コラボによる高度技術セミナー

総合テーマ：「トポロジー最適化を活用した新たな設計やデザイン手法とその応用」

テーマⅠ：「多目的最適化とその有用性について」

室蘭工業大学 しくみ解明系領域・知能情報学ユニット 准教授 渡邊 真也

テーマⅡ：「トポロジー最適化とその他の構造最適化手法を活用した製品開発」

アルテアエンジニアリング株式会社

営業本部 アプリケーションエンジニア ピエトロ・ベッロージ

テーマⅢ：「トポロジー最適化をプロダクトデザインに活用する」

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

事業化支部本部 地域技術支援部

主任研究員 上野 明也

主催：室蘭工業大学地方創生研究開発センター

(一社)北海道機械工業会(自動車関連部会、機械製缶部会、札幌支部)

後援：北海道航空ビジネス検討会 HAB、北海道プレス加工研究会、

(公社)精密工学会北海道支部、(一社)日本機械学会北海道支部、

(公社)日本鋳造工学会北海道支部、(地独)北海道立総合研究機構工業試験場、

室蘭工業大学地方創生研究開発センター研究協力会、異業種交流プラザ「創造」

日時：令和2年2月13日13:00~16:30

場所：ANAクラウンプラザホテル札幌23階 白樺(札幌市)

参加者：37名

(3)フロンティア技術検討会

総合テーマ：ロボット技術・システムによる地域の活性化について

テーマⅠ：室蘭工業大学における移動ロボットのナビゲーション技術

室蘭工業大学 創造工学科 教授 花島 直彦

テーマⅡ：食品ロボット実証ラボ『ロボラボ』の解説と工業試験場の取り組み

北海道立総合研究機構 工業試験場 研究主任 井川 久

テーマⅢ：『天・地・人』次世代災害支援システム

室蘭工業大学 システム理化学科 教授 董 冕雄

【産学官交流会】

主催：室蘭地域産学官連携事業実行委員会

<委員会構成>

室蘭工業大学地方創生研究開発センター

室蘭工業大学地方創生研究開発センター研究協力会

(公財)室蘭テクノセンター

産学交流プラザ「創造」

後援：北海道胆振総合振興局、室蘭市、登別市、伊達市、室蘭商工会議所、登別商工会

議所、伊達商工会議所、室蘭信用金庫、伊達信用金庫、北洋銀行、北海道銀行、

日本政策金融公庫、北海道新聞社室蘭支社、室蘭民報社、北海道中手企業家同友

会西胆振支部、北海道IM連携促進会

日時：令和元年10月30日15:00~17:30

場 所：中嶋神社 蓬峯殿（室蘭市）  
参加者：97名

(4) 苫小牧地域産学官金連携セミナー

総合テーマ：「活かせ地域資源～研究者からのメッセージ～」

テーマⅠ：「活かせ！苫小牧の水産資源」

講 師：苫小牧工業高等専門学校 創造工学科 都市・環境系 准教授 松尾 優子

テーマⅡ：「“ならでは”を活かした観光と町づくり～ベトナムでの経験から～」

講 師：室蘭工業大学 もの創造系領域・環境建築学ユニット 准教授 内海 佐和子

日 時：令和元年11月12日（火）15：00～17：00

場 所：苫小牧経済センター 6階大ホール

参加者：40名

(5) 日本機械学会シニア会「科学と技術に関する公開講座」

①テーマ：身近な人間工学の世界

～安全な生活や使い易いツールづくりに役立つ科学技術～  
室蘭工業大学 地方創生研究開発センター 教授 吉成 哲

日 時：令和元年7月20日（土）13：30～15：00

場 所：室蘭工業大学 教育研究棟10号館（S棟）3階301室

参加者：23名

②テーマ：やさしい衝撃工学

～空手の威力から自動車の衝突まで～

室蘭工業大学 名誉教授 臺丸谷 政志

日 時：令和元年10月26日（土）13：30～15：00

場 所：室蘭工業大学 教育研究棟10号館（S棟）3階301室

参加者：20名

(6) 日本鋳造工学会北海道支部セミナー

アルミニウム合金を中心とした非鉄鋳物の最新研究動向

開催日：令和元年9月4日（水）

場 所：かでの2・7 9F 940会議室（北海道立道民活動センター）

参加者：20名

#### **4. 他機関との連携活動（16件）**

(1) コーディネーター会議（11回）

①開催日：平成31年4月25日（木）

場 所：室蘭工業大学 地方創生研究開発センターT101

②開催日：令和元年5月29日（水）

場 所：（公財）室蘭テクノセンター

③開催日：令和元年6月27日（木）

場 所：室蘭工業大学 地方創生研究開発センターT101

④開催日：令和元年7月24日（水）

場 所：（公財）室蘭テクノセンター

⑤開催日：令和元年9月24日（火）

場 所：室蘭工業大学 地方創生研究開発センターT101

⑥開催日：令和元年10月24日（木）

場 所：（公財）室蘭テクノセンター

⑦開催日：令和元年11月21日（木）

場 所：室蘭工業大学 地方創生研究開発センターT101

⑧開催日：令和元年12月26日（木）

- 場 所：(公財) 室蘭テクノセンター
- ⑨開催日：令和2年1月21日(火)  
場 所：室蘭工業大学 地方創生研究開発センターT101
- ⑩開催日：令和2年2月25日(火)  
場 所：(公財) 室蘭テクノセンター
- ⑪開催日：令和2年3月23日(月)  
場 所：室蘭工業大学 地方創生研究開発センターT101

(2)産学交流プラザ「創造」(10回)

- ①役員会  
年度事業計画他  
開催日：令和元年5月16日(木)  
場 所：室蘭テクノセンター
- ②総会及び交流会  
平成30年度事業報告及び決算について  
令和元年度事業計画(案)及び予算(案)他  
開催日：令和元年5月29日(水)  
場 所：中嶋神社 蓬峯殿
- ③交流会  
室テクから宮古(寺子屋)へ講師派遣  
講 師：今野課長、堀井係長  
開催日：令和元年6月12日(水)～14日(金)
- ④役員会  
事業計画後期他  
開催日：令和元年7月17日(水)  
場 所：室蘭テクノセンター
- ⑤定例会  
新入会企業紹介  
北海道運搬機株・(株)興伸工機  
開催日：令和元年7月30日(火)  
場 所：居酒屋かめや
- ⑥定例会  
『IT活用実践セミナー』  
講 師：室蘭工業大学 しくみ解明系領域 知能情報学ユニット 教授 岸上 順一  
講 師：(株)ハイテックシステム 瀧川 実  
開催日：令和元年9月24日(火)  
場 所：室蘭テクノセンター
- ⑦第31回フロンティア技術検討会  
「ロボット技術・システムによる地域の活性化について」  
講 師：室蘭工業大学 花島 直彦、北海道立総合研究機構 井川 久、  
室蘭工業大学 董 冕雄  
開催日：令和元年10月30日(水)  
場 所：中嶋神社 蓬峯殿
- ⑧他企業視察会  
茨城県つくば方面  
開催日：令和元年11月14日(木)～16日(土)  
視察先：ロボットテクニカルセンター・産総研つくばセンター・  
JAXAつくば宇宙センター
- ⑨新春講演会&新年交礼会



講師：(株)ファームノート 取締役 専務執行役員 下村 瑛史  
開催日：令和2年1月28日（火）  
場所：ホテルサンルート室蘭

⑩役員会

次年度事業計画他  
開催日：令和2年度2月20日（木）  
場所：室蘭テクノセンター

(3)北のものづくり総合技術交流会

毎週水曜日 13：30～15：00  
6/5、7/31、8/7、9/25、10/9、11/27、12/11、12/25、1/8、1/15、2/5  
2/12、2/19、3/4、3/11、3/18、3/25 計17回実施

(4)HiNT 協議会・連絡会・セミナー（12回）

- ①主 催：HiNT 連絡会  
日 時：令和元年5月16日（木）15：30～16：30
- ②主 催：HiNT 運営協議会  
日 時：令和元年5月17日（金）10：00～12：00
- ③主 催：HiNT 連絡会  
日 時：令和元年6月20日（木）15：30～16：30
- ④主 催：HiNT 運営協議会  
日 時：令和元年6月26日（水）10：00～12：00
- ⑤主 催：HiNT 連絡会  
日 時：令和元年7月18日（木）15：30～16：30
- ⑥主 催：HiNT 連絡会  
日 時：令和元年9月19日（木）15：30～17：00
- ⑦主 催：HiNT 連絡会  
日 時：令和元年10月17日（木）15：30～16：30
- ⑧主 催：HiNT 連絡会  
日 時：令和元年11月14日（木）15：30～16：30
- ⑨主 催：HiNT 連絡会  
日 時：令和元年12月19日（木）15：30～16：30
- ⑩主 催：HiNT 連絡会  
日 時：令和2年1月16日（木）15：30～16：15
- ⑪主 催：HiNT 連絡会  
日 時：令和2年2月20日（木）15：30～16：30
- ⑫主 催：HiNT 運営協議会  
日 時：令和2年2月25日（火）13：00～15：00  
場 所：R&B パーク札幌大通サテライト（札幌市）

(5)北海道経済連合会・産学連携会議

開催日・場所：  
①令和元年5月30日（木）札幌東急REI ホテル  
②令和元年9月30日（月）札幌東急REI ホテル  
③令和元年12月2日（月）京王プラザホテル札幌

(6)北海道医療福祉産業研究会

- ①開催日：令和元年4月12日（金）  
場 所：アスティ45ビル12階
- ②開催日：令和元年8月2日（金）

- 場 所：R&B パーク札幌大通サテライトビル
- ③開催日：令和元年12月6日（金）  
場 所：北翔大学北方圏学術情報センター札幌円山キャンパス
- ④開催日：令和2年2月12日（水）  
場 所：札幌市立大学サテライトキャンパス
- (7)北海道自動車産業集積促進協議会  
日 時：令和元年5月23日（木）10：00～11：30  
場 所：北海道庁 別館西棟5階 9号会議室
- (8)苫小牧地域産学官金連携実行委員会・定期総会  
I. 実行委員会  
日 時：令和元年6月5日（水）15：30～  
場 所：苫小牧経済センター 3F 会議室  
II. 定期総会  
日 時：令和元年6月12日（水）16：00～  
場 所：苫小牧経済センター 6F 大ホール
- (9) (独)北海道立総合研究機構との包括連携に基づく活動・連携協議会  
日 時：令和元年6月6日（木）13：00～  
場 所：道総研プラザ 2階 特別会議室
- (10) コラボ産学官(総会、講演会)  
開催日：令和元年6月24日（月）  
場 所：TKP 九段下神保町ビジネスセンター
- (11) 「北海道航空機産業分野参入促進」連携支援計画&  
「北海道航空ビジネス検討会」幹事会  
開催日：令和元年8月1日（木）15：00～15：30  
場 所：かでの2.7 520 研究室  
内 容：令和元年度事業説明、支援機関の支援メニュー、連携支援計画との関連等
- (12) 科学技術振興に関する「室蘭・苫小牧地域懇談会」  
開催日：令和元年9月2日（月）  
場 所：室蘭テクノセンター  
内 容：  
(1) 情報提供  
・科学技術振興に向けた道の取組について(科学技術振興室)  
(2) 議題：テーマ「ものづくり分野における生産効率化・高度化」  
①「ものづくり分野での研究シーズの紹介」（室蘭工業大学）  
②事例紹介  
・株式会社西野製作所 代表取締役社長 西野 義人  
・苫小牧市テクノセンター 館長 桃野 正  
③意見交換
- (13)北海道科学技術審議会  
①開催日：令和元年8月28日（水）  
場 所：北海道赤レンガ庁舎  
②開催日：令和元年11月21日（木）  
場 所：かでの2.7

(14) 第 32 回国立大学法人共同研究センター等教員会議

日 時：令和元年 9 月 5 日（木）13:00～17:00  
令和元年 9 月 6 日（金） 9:00～12:00  
場 所：東北大学（仙台市）

(15) 国立大学法人共同研究センター長等会議

日 時：令和元年 10 月 3 日（木）14:00～17:15  
令和元年 10 月 4 日（金） 9:00～11:40  
場 所：ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

(16) 全道産学官ネットワーク推進協議会

日 時：令和元年 11 月 13 日（水）  
場 所：北海道大学 FMI 国際拠点

## 5. 各種展示会への出展（5 件）

(1) 北洋銀行ものづくりテクノフェア 2019

『創造的な科学技術で夢をかたちに！』

パネル展示内容（本学関係分）

「多目的最適化およびその解分析に関する研究」

室蘭工業大学 しくみ解明系領域 准教授 渡邊 真也

「オール北海道雇用創出・若者定着プロジェクト」

室蘭工業大学 地（知）の拠点推進室

「学術指導制度・プレ共同についての PR」

「地方創生研究開発センターのしくみについて」

室蘭工業大学 地方創生研究開発センター

主 催：北洋銀行

後 援：経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、（一社）北海道機械工業会、  
北海道経済連合会、（一社）北海道商工会議所連合会、（一社）北海道中小企業家  
同友会、札幌商工会議所、（独）中小企業基盤整備機構北海道本部、  
国立研究開発法人産業技術総合研究所北海道センター、（地独）北海道立総合研究  
機構、（一社）北海道発明協会、（公財）北海道中小企業総合支援センター、（公  
財）北海道科学技術総合振興センター、北海道自動車産業集積促進協議会、札幌  
証券取引所、（一財）省エネルギーセンター北海道支部、（公財）北海道環境財  
団、（一財）さっぽろ産業振興財団、EMS-JP 北海道支部、

（株）北海道二十一世紀総合研究所、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所、  
旭川商工会議所、（公財）函館地域産業振興財団、（公財）大田区産業振興協会

協 力：北海道大学、室蘭工業大学、小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学、札幌  
医科大学、公立はこだて未来大学、東京農業大学オホーツク実学センター、函館  
工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校、旭川工業  
高等専門学校

特別協力：（株）青森銀行、日本政策金融公庫札幌支店、北海道信用金庫、空知信用金庫、苫  
小牧信用金庫、旭川信用金庫、帯広信用金庫

日 時：令和元年 7 月 25 日（木）10:00～17:00

場 所：アクセスサッポロ（札幌市）

来場者：約 4,600 名 参加企業：225 社・団体

(2) イノベーション・ジャパン 2019

～大学見本市&ビジネスマッチング

パネル展示等（本学関係分）

「水素を貯蔵する有機ハイドライド中の水素量を可視化」

室蘭工業大学 大学院工学研究科 准教授 馬渡 康輝

日 時：令和元年8月29日（木）～30日（金）10：00～17：00

場 所：東京ビッグサイト 青梅展示棟 Bホール（東京都江東区青梅1-2-33）

主 催：国立研究開発法人科学技術振興機構、国立研究開発法人新エネルギー・  
産業技術総合開発機構

共 催：文部科学省、経済産業省

来場者：29日（8,865名）、30日（5,314名）

合計14,179名

### (3) メッセナゴヤ 2019

パネル展示等（本学関係分）

「多目的最適化およびその解分析に関する研究」

室蘭工業大学 しくみ解明系領域 准教授 渡邊 真也

「地方創生研究開発センターのしくみについて」

室蘭工業大学 地方創生研究開発センター

日 時：令和元年11月6日（水）～9日（土）10：00～18：00

場 所：ポートメッセなごや（名古屋区港区金城ふ頭2丁目2番地）

来場者：6日（14,129名）、7日（17,833名）、8日（19,858名）、9日（11,602名）

合計62,422名

### (4) ビジネス EXPO2019 「第31回 北海道 技術・ビジネス交流会」

パネル展示内容（本学関係分）

「多目的最適化およびその解分析に関する研究」

室蘭工業大学 しくみ解明系領域 准教授 渡邊 真也

「物体把持・操作性脳の向上を目指した多層構造ソフトフィンガーの開発」

室蘭工業大学 もの創造系領域 ロボティクスユニット 助教 藤平 祥孝

「オール北海道雇用創出・若者定着プロジェクト」

室蘭工業大学 地（知）の拠点推進室

「学術指導制度・プレ共同についてのPR」

「地方創生研究開発センターのしくみについて」

室蘭工業大学 地方創生研究開発センター

主 催：北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会

日 時：令和元年11月7日（木）、8日（金）10：00～17：00

場 所：アクセスサッポロ（札幌市）

参加者：1日目10,474名 2日目11,229名 合計21,703名

### (5) 学内教員の展示会出展支援

## **6. 他機関主催事業への参加（ニーズ・情報の収集活動）（7件）**

### (1) 技術移転フォーラム 2019 工業試験場成果発表会

日 時：令和元年5月30日（木）12：00～17：00

場 所：ホテル札幌ガーデンパレス 2階

### (2) 北海道ブロック公和会交流会

日 時：令和元年11月5日（火）15：00～19：30

場 所：京王プラザホテル札幌 2階 エミネンスホール

### (3) 北海道産学官連携シンポジウム参加

開催日：令和元年12月2日（月）

場 所：京王プラザホテル札幌

(4) 令和元年度スマート農業マッチングイベント&  
農研機構マッチングフォーラム in 北海道

日 時：令和元年12月10日（火）10：00～16：00

場 所：札幌コンベンションセンター

(5) オープンイノベーションチャレンジピッチ in 北海道

日 時：令和元年12月11日（水）13：30～18：00

場 所：TKP 札幌カンファレンスセンター2階

(6) SCOPE 公募説明会

日 時：令和2年1月8日（水）17：30～19：30

場 所：北海道大学 学術交流会館 第1会議室

(7) 道総研オープンフォーラム

日 時：令和2年2月21日（金）13：30～17：00

場 所：札幌ガーデンパレス 2階 孔雀・白鳥の間

## **7. 広報（4件）**

(1) ホームページ・定期刊行物

① 研究シーズ集のHPの内容更新

② センターニュース No, 32（令和元年8月発行）

③ 研究シーズ集 2019（令和元年12月発行）

④ センター研究報告 No, 30（令和2年3月発行）

## 4.地方創生研究開発センター 研究協力会

### 役員名簿

(令和2年8月12日現在)

役員名	会社名	役職名	氏名
会長	日本製鉄(株)室蘭製鉄所	生産技術部長	小林 雅人
副会長	王子製紙(株)苫小牧工場	工場長代理 兼施設部長	大倉 孝之
副会長	日本製鋼所M&E(株) 室蘭製作所 室蘭研究所	所長	梶川 耕司
副会長	(株)光合金製作所	相談役	井上 一郎
理事	(株)西野製作所	代表取締役社長	西野 義人
理事	(公財)室蘭テクノセンター	専務理事	松村 隆三
監事	(株)栗林商会	部長	野村 耕二
監事	日鉄セメント(株)	製品開発部長	若杉 伸一

任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日



研究協力会加入企業

企業名	代表者	住所	電話番号
1 (株) アールアンドイー http://www.rande.co.jp/	代表取締役 北山 茂一	〒059-0462 登別市富浦町223番地1	0143-80-2233
	産業廃棄物処理業(収運・中間・最終)及び再生材等の販売		
2 (株) 浅井ゲルマニウム研究所 http://www.asai-ge.co.jp/	代表取締役 志柿 松作	〒042-0958 函館市鈴蘭丘町3-131	0138-32-0032
	1967年、50年前に世界発の水溶性有機ゲルマニウム化合物を合成し、安全性確認されたアサイゲルマニウムを、食品および化粧品原料として製造販売されています。また、その生理活性を研究開発することで用途開発等続けているバイオニア企業です。		
3 (株) ASce http://asce-g.com	代表取締役 後藤 亮太	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目2番23号	011-826-5960
	自動車、食品、電子デバイス、医療関連など多岐にわたる分野における自動機器、省力機械の設計・製作(オーダーメイド)を行っております。自社開発製品としては針を使用しないで食材に調味液を注入する装置、ニードルレスインジェクターを開発し食品加工業界に展開中です。現在取り組んでいる事業としては協働ロボットシステム(人と共に働ける)を開発中で将来的には食品業界に展開していきたいと思っております。		
4 (株) アドヴァンスト・ソフト・エンジニアリング https://www.ase.co.jp/	代表取締役社長 金山 英範	〒004-0015 札幌市厚別区下野幌7クハ 7-1-16	011-807-6477
	創立33年、ソフトウェアシステムの受託開発を中心に、首都圏や全国のお客様に次の様なシステムを提供しています。 ◇防災、通信指令、交通網管理等の社会インフラに関する業務／◇クラウドサービス、スマホアプリ等自社開発サービスの提供／◇法人向け情報共有基盤業務／◇スーパーコンピュータによる解析等エンジニアリング業務		
5 伊藤組土建(株) http://www.itogumi.co.jp/	代表取締役社長 玉木 勝美	〒060-8554 札幌市中央区北4条西4丁目1	011-261-6111
	1)建設業、2)宅地建物取引業、3)建築の設計および工事監理 当社は明治26年創業以来、北海道を拠点として営業してきました。当社の理念の「誠心誠意」を忘れず、土木建築の建設工事を通じて北海道の発展に貢献していきたいと考えています。		
6 伊藤製缶工業(株) https://www.ito-seikankogyo.co.jp/	取締役社長 宮澤 靖	〒063-0834 札幌市西区寒寒14条13丁目2-1	011-661-7181
	圧力容器、塔槽・貯槽・一般製缶、溶接配管、産業機械の設計・製作・据付・メンテナンス		
7 岩田地崎建設(株) http://www.iwata-gr.co.jp/	代表取締役社長 岩田 圭剛	〒060-8630 札幌市中央区北2条東17丁目2番地	011-221-2221
	1)建築工事、2)土木工事、3)その他 建設工事全般に関する企画、測量、設計、監理、施工、エンジニアリング及びコンサルティング。		
8 岩見沢鋳物(株) http://www.iwata-gr.co.jp/	代表取締役 白井 雅人	〒068-0111 岩見沢市栗沢町由良497-3	0126-45-3492

9	(株) INDETAIL https://www.indetail.co.jp/	代表取締役 CEO 坪井 大輔	〒060-0042 札幌市中央区大通西10丁目4番地16 ダンロップSKビル4F	011-206-9235	ブロックチェーンやAIなどの先進技術を駆使し、地域やコミュニティが抱える課題に対して、その解決のための新規事業の創出を行っております。2020年にはドイツ、ベトナムにも拠点を開設。北海道から世界をアップグレードしていきます。
10	上山試錐工業 (株) http://www.ueyama-shisui.co.jp	代表取締役社長 上山 弘	〒060-0032 札幌市中央区北2条東13丁目1番地の7	011-241-6516	弊社は、建設業（さく井工・地下探査）・地質調査業（地質・土質調査試験）・建設コンサルタンタム（地質解析、地すべり対策設計など）・測量業を生業として、創立59年を迎える技術コンサルタンタムです。近年は、赤外線を使った外壁劣化診断や特殊車両を使った路面性状調査など、新たな研究開発分野に挑戦しています。
11	HRS (株) https://h-r-s.co.jp	代表取締役社長 鈴木 貴文	〒047-0005 小樽市勝納町8番39号	0134-22-7710	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査(地質・土質・環境・水質・交通量・雪)</li> <li>・計画・設計(道路・構造物・防災対策・農業土木・CAD)</li> <li>・情報(GIS・情報処理)</li> <li>・マネジメント(現場技術・計測)</li> <li>・測量(用地・路線・GPS)</li> <li>・補償調査</li> </ul>
12	株HDC http://www.lilac.co.jp/hdc/	代表取締役社長 西山 秀樹	〒060-0061 札幌市中央区南1条西10丁目2番地 南一条道銀ビル	011-261-5502	お客様と地域に貢献するトータルソリューションIT企業です。ソフトウェア開発、システムコンサルティング、システム・ネットワーク設計、情報処理サービスの他、IDCサービス、パッケージソフト導入サービス、集金代行サービスを行っています。拠点は、本社・情報サービスセンター・東京営業本部を置いています。
13	(株) エーティック http://www.a-tic.co.jp	代表取締役社長 舟田 幸太郎	〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条5丁目6-1	011-644-2845	1)環境調査、2)地質調査、3)各種計画・設計、4)防災対策、5)計測・解析、6)施工・維持管理など、プランニングからフィールドワークまで一貫したコンサルティングを提供する総合建設コンサルタンタムです。
14	(株) エスイーシー http://www.hotweb.or.jp/sec/	代表取締役社長 永井 英夫	〒040-8632 函館市末広町22番1号	0138-22-7188	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 情報通信系ソフト・ファーム・ハードウェア設計開発</li> <li>2) 各種アウトソーシングサービス</li> <li>3) システムインテグレーション、インターネットプロバイダ</li> </ol>
15	(株) 荏原製作所 https://www.ebara.co.jp/	代表執行役 浅見 正男	〒050-0067 室蘭市陣屋町2丁目4番15号	0143-50-2221	
16	王子製紙(株) 苫小牧工場 http://www.ojipaper.co.jp/	執行役員工場長 渡部 司	〒053-8711 苫小牧市王子町2丁目1-1	0144-32-0111	紙・パルプ製造業

17	(株) キメラ http://www.chimera.co.jp/	代表取締役 藤井 徹也	〒050-0052 室蘭市香川町24-16	0143-55-5293
<p>主要製品： モールド金型（各光学機器機構部品・車載・OA機器外観・機構部品等）、プレス金型（精密接続端子・スイッチ等）、各種金型部品加工、精密金属機械加工、モールド金型設計・製作・試作</p> <p>技術的特徴： 超精密（ミクロンオーダー）の型彫放電加工技術、高硬度直彫切削加工技術、自由曲面加工制御技術、熟練技能と先端IT技術を融合した研削加工技術</p>				
18	(株) 郷葉 http://www.kyoyo.net	代表取締役社長 橋本 笑子	〒003-0838 札幌市白石区北郷8条10丁目2-22	011-872-5221
<p>1) 建築業</p> <p>①大型建物に於ける金物施工図作成、自社工場製作・取付</p> <p>②メンテナンスラダー設計・自社工場製作・取付・</p> <p>③太陽光架台設計・自社工場製作・取付</p> <p>2) 通信鉄塔 携帯基地局鉄塔設計・製作・施工</p>				
19	極東高分子 (株) http://www.kyokutou-koubunshi.jp/	代表取締役社長 大野 寿之	〒047-0261 小樽市銭函3丁目296	0134-62-2111
<p>包装資材（ポリエチレン製品、ラミネート製品、成型容器段ボール製品、紙器製品）の製造、販売。</p>				
20	栗林機工 (株) http://www.kikounet.co.jp/	代表取締役社長 栗林 和徳	〒050-0082 室蘭市寿町3丁目4-2	0143-44-6001
<p>1. 設計業務(機械・プラント配管等の計画設計), 2. 各種機械・プラントの据付及びメンテナンス, 工事管理(マネジメント), 配管工事(下水, 上水, 油圧, 石油・化学プラント一式), 3. 土木, 建築工事(一級建築士事務所)一式, 4. 大型油圧/クローラークレーン賃貸業(550t, 200t その他各種保有), 5. 安全コンサルタント事務所(機械・建築), 6. 陸上・海上輸送営業業務 得意分野: 1) 大型機械据付計画及び現地工事, 2) 石油・化学プラントの動機械, 静機械メンテナンス(全国展開の実績), 3) 港湾荷役機械・天井クレーンの据付・点検・補修業務, 4) 油圧機器, 配管の設計及び施工</p>				
21	(株) 栗林商会 http://www.kurinet.co.jp/	取締役社長 栗林 和徳	〒051-0023 室蘭市入江町1-19	0143-24-7011
<p>運輸・船舶代理店事業 商事事業 保険事業</p>				
22	(株) 構建設計事務所 http://www.kouken-s.co.jp	代表取締役 林 甲多	〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目1 緑苑ビル3階	011-219-2332
<p>建築構造設計・監理、耐震診断・改修</p>				
23	(株) コーノ http://www.kohno.info/	代表取締役 阿部 俊夫	〒041-0824 函館市西栴町213番地の82	0138-49-1071
<p>「熱と水をキーワードに北海道、東北で新産業を創造する」を経営理念とし、熱と水に係わる省エネ機器を開発・製造・販売しています。 平成21年度、熱源内蔵型FF式真空暖房機「HPH」を自社開発し発売。 平成21年度「北海道新技術・新製品開発賞」受賞。</p>				
24	こぶし建設 (株) https://kobushi-construction.co.jp/	代表取締役社長 永田 隆一	〒068-0833 岩見沢市志文町966番地15	0126-25-3377
<p>官庁土木工事の請負事業を営む道内企業です。</p>				

25	産業振興（株） 室蘭事業所 <a href="http://www.sangyoshinko.co.jp/">http://www.sangyoshinko.co.jp/</a>	取締役 小玉 亨	〒050-0087 室蘭市仲町12	0143-44-5334	鉄スクラップの仕入れ、リサイクルをコア事業に、製鉄から加工・販売まで、鉄流通のあらゆるフェイズに携わっています。役目を終えた鉄を再び製鉄所に還し、また新たな付加価値を生み出し、お客様の満足さらには社会に貢献しています。
26	清水鋼鐵（株） 苫小牧製鋼所 <a href="http://www.shimizusteel.co.jp/">http://www.shimizusteel.co.jp/</a>	代表取締役社長 苫小牧製鋼所長 清水 孝	〒059-1372 苫小牧市字勇払145-13	0144-56-1111	直流電気炉により道内発生の鉄スクラップを主原料に溶解し鋼塊・鉄筋丸棒を製造・販売しております。道内におけるリサイクル産業を振興し循環型社会の形成に寄与しております。
27	陣上工業（株） <a href="http://www.jing.co.jp">http://www.jing.co.jp</a>	代表取締役社長 杉上 学	〒050-0087 室蘭市仲町16番地	0143-45-5121	室蘭製鉄所の構内で原料や製品等の輸送及び全国への発送手配業務、環境事業ではプラスチックリサイクル工場並びに廃棄物焼却炉運営業務を行っています。鉄の町「室蘭」の物流を支えて1世紀。陣上工業にしかできない物流サービスがあります。
28	(株) スガテック 室蘭支店 <a href="http://www.sugatec.co.jp/">http://www.sugatec.co.jp/</a>	執行役員支店長 東野 郁夫	〒050-0087 室蘭市仲町12	0143-44-2223	製鐵・化学・電力並びに環境分野を中心とした各種機械プラント設備の設計・製作・建設及びメンテナンス。
29	精電舎電子工業（株） <a href="https://www.sedeco.co.jp/">https://www.sedeco.co.jp/</a>	代表取締役社長 松岸 則彰	〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-2-17	03-3802-5101	超音波、高周波、レーザーの波動エネルギーを応用したプラスチックの溶着溶断装置とこれらを搭載した自動化装置の開発、製造、販売を行っています。近年では、それらコアテクノロジーを応用し、金属接合機、フードカッター、包装業界向けシールユニットなど新しい分野への応用、展開を積極的に行っております。
30	千住金属工業（株） <a href="https://www.senju.com/ja/">https://www.senju.com/ja/</a>	代表取締役社長 鈴木 良一	〒120-8555 東京都足立区千住橋戸町23	03-3888-5151	弊社は「はんだ付け材料」、「FA装置(自動ハンダ付け装置等)」、「すべり軸受」を核として電気電子機器、半導体、自動車などあらゆる分野の多様なハイテクノロジー化の一翼を担っています。AI、IoT、EV等々、「はんだ」のニーズは益々高まっています。経済産業省「グローバルニッチトップ 100選」受賞企業です。
31	(株) ソフトクリエイティブホールディングス <a href="https://www.softcreate-holdings.co.jp">https://www.softcreate-holdings.co.jp</a>	代表取締役会長 林 勝	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クオスタワー	03-3486-0606	ECサイト構築パッケージソフト『ecbeing』、ワークフローソフト『X-point』『AgileWorks』、不正接続防止ソリューション『L2BLocker』など、3つの分野で国内市場シェアNo1を獲得。他にデジタルマーケティング事業、システムインテグレーション事業、クラウドサービス事業など幅広く展開。東京証券取引所 市場第一部に株式を上場。
32	(株) 田中組 <a href="http://www.tanakagumi.co.jp/">http://www.tanakagumi.co.jp/</a>	代表取締役社長 松村 敏文	〒060-0006 札幌市中央区北6条西17丁目17-5	011-611-3331	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築・土木その他建設工事の設計施工</li> <li>・建築工事に関する調査・企画等エンジニアリング、マネージメント、コンサルティング業務</li> <li>・不動産の売買・管理・運用・賃貸</li> <li>・地域開発・都市開発等の事業、及びこれらに関するエンジニアリング、マネージメント、コンサルティング業務</li> <li>・前記に関する一切の業務</li> </ul>

33	千代田商事 (株) <a href="https://www.chiyoda-x.co.jp/">https://www.chiyoda-x.co.jp/</a>	取締役社長 小泉 洋平	〒670-0976 姫路市巾地字杉田421-1	079-294-2331	1. 産業用機械装置、機械部品の販売・設計・施工 2. 鉄鋼及び非鉄金属関連製品の販売 3. 燃料及び石油関連商品の販売 4. 化学工業薬品、油脂、塗料その他化学製品の販売 5. 各種工業用ゴム製品等化学製品の販売 6. 各種機械の修理及び据付など建設工事の請負業 7. 電子機械部品及び電子通信機の販売
34	月島機械 (株) <a href="https://www.tsk-g.co.jp/">https://www.tsk-g.co.jp/</a>	代表取締役社長 山田 和彦	〒104-0053 東京都中央区晴海三丁目5番1号	03-5560-6573	《水環境事業》 浄水場、下水処理におけるプラント建設・機器製造 《産業事業》 化学・鉄鋼・食品等のプラント建設・機器製造
35	(株) データベース <a href="http://www.data-g.com/database/">http://www.data-g.com/database/</a>	代表取締役 大森 康弘	〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目8番5号	011-726-7661	私たちデータベースは、上下水道施設等の水や環境に関わる施設の運転管理を通じて、地域住民の皆様の日常へ安心と安全をお届けするほか、自治体様の良きパートナーとして水関連事業をトータルでサポートし、事業者様業務の補充・支援・協働に取り組んでいます。
36	(株) 電制 <a href="https://dencom.co.jp/">https://dencom.co.jp/</a>	代表取締役 田上 寛	〒067-0051 江別市工栄町8番地の13	011-380-2101	・各種電力監視制御システムの開発・設計・製造 ・ダム管理システムや各種通信システム等の開発・設計・製造 ・福祉機器や各種センサーの開発等
37	(株) ドーコン <a href="http://www.docon.jp/">http://www.docon.jp/</a>	代表取締役社長 佐藤 謙二	〒060-0042 札幌市中央区大通西4丁目1番地 新大通ビル 3階	011-801-1500	
38	中井聖建設 (株) <a href="http://www.nakai-k.co.jp/">http://www.nakai-k.co.jp/</a>	代表取締役社長 中井 靖	〒003-0023 札幌市白石区南郷通3丁目北1番1号	011-861-6241	個人住宅から店舗、オフィス、工場、倉庫など幅広い分野の建築工事の設計・施工を手掛けており、地元札幌を中心に街づくりの発展に貢献しています。 ～BUILD the FUTURE～ 未来をこの手で創る。 建物にはお客様の「夢」がたくさん詰まっています。 我々は建物を建設し「夢」を実現させ、お客様の喜びや街の発展が我々の成長の糧となります。
39	(株) 永澤機械 <a href="http://murotech.or.jp/list/nkikai/">http://murotech.or.jp/list/nkikai/</a>	代表取締役 永澤 優	〒050-0083 室蘭市東町3丁目1番4号	0143-44-2888	当社は、精密切削加工を中心に素材の熟処理から機械加工、仕上げ組み立てまでの一貫製造を行い、各種産業機械部品等を製作させて頂いています。
40	(株) 中山組 <a href="http://www.nakayamagumi.co.jp">http://www.nakayamagumi.co.jp</a>	取締役社長 中山 茂	〒065-8610 札幌市東区北19条東1丁目1番1号	011-741-7111	1. 土木建築工事請負業 2. 土木建築工事に係る設計及び技術の指導と提供等のコンサルタント業 3. 建築の設計及び工事監理 4. 不動産の売買及び管理・賃貸業 ほか 当社は1923年の創業以来、主に道内を中心に土木、建築の建設工事を行っています。

41	ナラサキスタックス (株) <a href="https://www.narasaki-stax.co.jp/">https://www.narasaki-stax.co.jp/</a>	代表取締役社長 須藤 哲也	〒053-8522 苫小牧市元中野町2丁目13番24号	0144-35-2222	北海道を本拠に港湾運送事業や海運代理店業務を展開しており、貨物の船揚げから倉庫保管、更にトラックでの配送など顧客のニーズに応じております。 この他にセメント専用船やケミカル船などを有し、全国規模で海上輸送を行っております。 また、認定通関業者として、陸海空を通じて適正・迅速・確実に通関業務を行っております。 我が社は各部門が密接に連携し、あらゆるニーズに応えるサービス体制を整えています。
42	(株) 檜崎製作所 <a href="http://www.narasaki-ss.co.jp">http://www.narasaki-ss.co.jp</a>	代表取締役社長 小櫻 義隆	〒050-8570 室蘭市崎守町385番地	0143-59-3611	弊社は、水処理等環境製品、船舶上架施設、鉄管・ゲート、鉄鋼製品及び橋梁のメーカーとして、北海道を中心に全国的に事業を展開しています。 船舶上架施設や水処理装置などのオリジナル製品をさらにブラッシュアップし、多様化するニーズに応えることで進化を遂げていきます。
43	(株) 西野製作所 <a href="http://nishinoseisakusyo.jp/">http://nishinoseisakusyo.jp/</a>	代表取締役 西野 義人	〒050-0075 室蘭市中島本町1丁目11番16号	0143-44-5945	弊社は一般産業機械部品の製作及び修理を主業務として創業いたしました。 現在では、溶射加工、硬質クロムメッキ、特殊溶接等の各種表面処理なども取り入れ、機械部品の寸法復元、耐久性性能復帰など高付加価値、多品種少量生産に一貫して対応できる体制を確立し、短納期、低価格を実現いたします。
44	(株) 西村組 <a href="http://www.nishimura.co.jp/">http://www.nishimura.co.jp/</a>	代表取締役 西村 幸浩	〒099-6404 紋別郡湧別町栄町133-1	01586-5-2111	当社は作業船を用いた、港湾工事や水産土木工事を施工することで、物流促進や水産物の安定供給に寄与できればと考えています。
45	日鉄セメント (株) <a href="https://cement.nipponsteel.com">https://cement.nipponsteel.com</a>	代表取締役社長 吉村 康嗣	〒050-8510 室蘭市仲町64	0143-44-1693	地球環境に優しい高炉セメントを始め各種セメントの他、特殊製品としてセメント系地盤固化材、地盤注入材、コンクリート補修材等の製造・販売を通じて社会に貢献しています。
46	日鉄テクノロジー (株) 室蘭事業所 <a href="http://www.nstec.nipponsteel.com/">http://www.nstec.nipponsteel.com/</a>	室蘭事業所長 鈴木 豊	〒050-0087 室蘭市仲町12	0143-47-2925	鉄で培った豊かな技術とノウハウで、地球環境保全が注目される時代に相応しい技術を提供致します。 主な業務分野は、1)成分分析、2)材料試験、3)環境アセスメント、4)省エネルギー診断で、お客様のニーズに迅速にお応えいたします。
47	日鉄テックスエンジ (株) 室蘭支店 <a href="http://www.tex.nipponsteel.com/">http://www.tex.nipponsteel.com/</a>	執行役員支店長 坂元 武士	〒050-0087 室蘭市仲町12	0143-44-1020	当社は主に鉄鋼分野を中心に、設備のメンテナンス(整備)や生産の操業、さらに機械・電気計装・土木・建築などの設計・施工や制御系システムの製作を行っている会社です。
48	日鉄ファーストテック (株) <a href="http://www.ftc.nipponsteel.com">http://www.ftc.nipponsteel.com</a>	代表取締役 氏家 義太郎	〒050-0087 室蘭市仲町12番地	0143-47-8226	日本製鉄の連結子会社として室蘭、名古屋において鋼材品質検査・精整、二次加工処理、梱包及び設備保全などを主たる事業としている。 製造ラインにおける検査、手入、各種運転、工程管理のほか、製造ライン、設備の効率化や改善業務を行っている。

49	日本仮設 (株) http://www.nihonkasetu.co.jp	代表取締役 菊原 歩	〒063-0836 北海道札幌市西区発寒16条14丁目6番50号	011-662-2611
建築・土木用仮設資材の開発、設計、製造、販売及びレンタル				
50	日本製鋼所M&E (株) 室蘭製作所 http://www.jsw-me.com	代表取締役社長 岩本 隆志	〒051-8505 室蘭市茶津町4	0143-22-0143
日本製鋼所M&E(株)は2020年4月1日付けで日本製鋼所の素形材・エネルギー事業と風力発電機器保守サービス部門、並びにグループ会社4社を統合して事業子会社として発足しました。前身となる日本製鋼所で培われた鋼が持つ優れた特性を追求するとともに、非鉄金属、複合材などを加えて様々な部材 (M:マテリアル) を供給します。また、グループ会社が取り組んできた多様な技術を集約し、各種プラント、社会インフラにおいて幅広いニーズに対し包括的なソリューション (E:エンジニアリング) を提供していきます。				
51	日本製鉄 (株) 室蘭製鐵所 http://www.nssmc.com	執行役員 室蘭製鐵所長 米澤 公敏	〒050-8550 室蘭市仲町12番地	0143-47-2111
創業は1909年(明治42年)、北海道唯一の高炉を持つ製鉄所として発足し、夕張の石炭と噴火湾の砂鉄を原料として鉄づくりが始まった。現在も道内唯一の銑鋼一貫製鉄所として、主に自動車のエンジンや駆動系、足まわり部品等に使用される高品質な特殊鋼棒鋼線材を製造している。プラスチックリサイクル事業や副産物のスラグを活用し海岸の藻場を再生する「海の森づくり」等、地球環境改善の取り組みも行なっている。				
52	日本通運 (株) 道南支店 http://www.nittsu.co.jp/	支店長 今城 祐志	〒051-0001 室蘭市御崎町1丁目35番地1	0143-22-1151
53	(株) ネクスコ・メンテナンス 北海道 https://e-nexco-m-ho.co.jp/	代表取締役社長 大越 良記	〒003-0832 札幌市白石区北郷2条14丁目3番18号	011-874-9002
北海道内の高速道路において、清掃作業、植栽作業、交通事故復旧作業、雪氷作業、補修工事、災害復旧工事等を専門的に行う、ネクスコ東日本のグループ会社である。				
54	パーソルAVCテクノロジー (株) https://www.persol-avct.co.jp/	代表取締役 薄葉 洋	〒559-1194 大阪府高槻市幸町1番1号 (パナソニックライティングデバイス社テクノセンター内)	072-690-7535
<ul style="list-style-type: none"> <li>■映像・音響機器、情報通信機器のソフトウェア及び機構設計、電気回路の開発・設計の受託</li> <li>■映像・音響機器、情報通信機器の製作・販売</li> <li>■映像・音響機器、コンピュータ関連システムの開発・設計・製作の受託</li> <li>■映像・音響機器、コンピュータ関連システム及びソフトウェアの販売・保守・運営の受託</li> <li>■情報処理システムの開発・設計・製作・保守・運営の受託、販売</li> </ul>				
55	(有)馬場機械製作所	代表取締役 馬場 義充	〒050-0074 室蘭市中島町4丁目17番9号	0143-45-4535
弊社は主に切削加工を中心に検査用試験片、治具、試作品製作、など略図、仕様書を以て部品、製品を提供しています。				
56	(株) 光合金製作所 http://www.hikarigokin.co.jp/	代表取締役社長 井上 晃	〒047-8686 小樽市新光5丁目9番6号	0134-52-2135
弊社は昭和二十二年の創業以来、寒冷地の快適な水環境の創造を企業理念に掲げ、寒冷地における不凍栓と関連機器の開発、製造、販売に取り組んでおります。				

57	(株) ビックボイス http://www.boisb.com/	代表取締役 佐々木 治郎	〒194-0021 東京都町田市中町1-4-2 町田新産業創造センター3階	042-794-7419
令和元年10月4日に室蘭テクノセンターに道内4拠点目となる研究開発拠点「室蘭IoTラボ」を開設しました。その他、札幌市・函館市・芦別市に拠点があり、小学生向けプログラミング教育など地域振興に力を入れています。主業務はwebシステム開設、サイト制作、仮想ネットワーク・サーバ構築・LAN工事等を大手優良顧客、行政、大学向けに行っています。現在、室蘭市内、ものづくり企業、室蘭工業大学、室蘭テクノセンターとIoTで地域の課題を解決する共同研究開発を行っております。(テクノロジー: AI・ブロックチェーン・web・ロボット・ドローン・自動運転・ハードウェア制御・ウェアラブルデバイス・Bluetooth通信等)				
58	(株)フェローテックホールディングス https://www.ferrotec.co.jp/	代表取締役 山村 章	〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル	0479-73-6601
59	(株) 不動テトラ 北海道支店 http://www.fudotetra.co.jp/	支店長 進藤 信博	〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目3番地(北一条大和田ビル)	011-233-1640
①土木事業: 陸上土木から海洋土木の幅広い分野において、社会インフラ施設の建設に携わっております。 ②地盤事業: 業界ナンバーワンの地盤改良技術を持ち、幅広い地盤を強化して構造物を支えています。多くの自然災害において効果を発揮し、構造物の安全を守っています。 ③ブロック環境事業: 「テトラポッド」に代表される消波根固ブロックを中心に型枠賃貸を行うとともに、水際線における様々な技術・設計サービスや、景観と生態系を守る製品の開発・販売を行っています。				
60	(株) 北央技研 http://www.hokuogiken.co.jp/	代表取締役 高田 紳吾	〒050-0063 室蘭市港北町1丁目3番15号	0143-58-1122
各種金属材料の非破壊検査				
61	北海道NSソリューションズ(株) https://www.nssol.nipponsteel.com/hokkaido/	代表取締役 大岩 高雄	〒050-0084 室蘭市みゆき町2丁目13番1号	0143-45-3220
・情報システムに関する企画・設計・開発および運用・保守 ・販売管理等の業務ソフトウェア製品の開発・導入および販売 ・情報システムに関する機器販売、アウトソーシング ・情報セキュリティに関するコンサル及びインテグレーション				
62	北海道ガス(株) http://www.hokkaido-gas.co.jp/	執行役員技術開発 研究所長 山岸 泰	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1丁目3-1	011-590-7700
CO2の排出量が少ないクリーンなエネルギーである天然ガスと、「ガスコージェネレーションシステム」「北ガス版HEMS」などの積雪寒冷地向け省エネシステムを融合することで、環境と快適な暮らしを両立する、北国の新しい生活文化を創造します。さらに、2016年度から電力事業にも参入しており、北海道のエネルギーを支える、『地域のバイオニア』を目指します。				
63	北海道三祐(株) http://www.dosanyu.co.jp/	代表取締役社長 笹浪 圭吾	〒002-0856 札幌市北区屯田6条8丁目9番12号	011-773-5121
1)一般土木事業、2)斜面崩壊防止事業、3)斜面緑化事業、4)パイプライン更正事業 自然環境の保全・創出並びに生活環境の整備事業に徹し “土と水と緑の調和を築く”をモットーに社会に貢献しております。				
64	(株) 北海道特殊鋳鋼 https://www.facebook.com/hscsspj/	代表取締役 伊藤 淳	〒068-0111 岩見沢市栗沢町由良497-3	0126-34-2501



65	北興工業 (株) <a href="http://www.hokkoh-kogyo.co.jp/">http://www.hokkoh-kogyo.co.jp/</a>	代表取締役社長 萩 幸	〒051-0023 室蘭市入江町1-63	0143-23-0321
弊社は昭和19年設立以来、海洋土木を中心に道路及び河川工事等の一般土木工部門と快適な街づくりを目指す建築工部門を有し、確かな技術と豊かな経験、創造力、更には品質と環境における国際規格の取得で、皆様のご信頼に応え、地域社会へ貢献する企業として邁進しています。				
66	みぞぐち事業 (株) <a href="http://www.mizoguchi-jigyou.com">http://www.mizoguchi-jigyou.com</a>	代表取締役 大西 淳	〒041-0824 函館市西桔梗町589番地44	0138-48-0810
コンクリート構造物の診断・補修専門集団です。				
67	(株)南組 <a href="http://www.minamigumi.co.jp">http://www.minamigumi.co.jp</a>	代表取締役社長 南 修	(本店) 〒058-0023 様似郡様似町栄町5番地 (支店) 〒062-0052 札幌市豊平区月寒東2条17丁目番3番7号	0146-36-2311 011-595-7082
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木建築請負業</li> <li>・土木、建築に関する設計、工事監理業</li> <li>・構造物、建物、構築物の剥離、洗浄、補修、維持保守管理業</li> <li>・コンクリート製品の製造及び販売業</li> <li>・建設機械の賃貸業</li> </ul>				
68	(株)村瀬鉄工所 札幌工場 <a href="http://www.h-kogyokai.com/members/154.html">http://www.h-kogyokai.com/members/154.html</a>	取締役工場長 秋場 勝行	〒007-0885 札幌市東区北丘5条4丁目4-55	011-791-1187
明治40年創業で、現在はダクタイル異形管の専業メーカーとして、口径75～800mmの耐震用を含む国内規格品、ISO規格及び規格外特殊異形管を、本社函館工場、札幌工場で製造。				
69	室蘭ガス (株) <a href="https://www.murogas.co.jp/">https://www.murogas.co.jp/</a>	取締役社長 西村 和浩	〒050-0081 室蘭市日の出町2丁目44番1号	0143-44-3156
当社は環境優位性の高い天然ガス・LPガス販売の他に、ガス機器全般や快適な空間造りの為のガスを使った冷房・暖房などの設計、販売、修理を通して環境に優しく安心・安全で豊かな暮らしのお手伝いをさせていただいています。				
70	室蘭工業大学 生活協同組合 <a href="http://www.hokkaido.seikyuu.ne.jp/mit/">http://www.hokkaido.seikyuu.ne.jp/mit/</a>	専務理事 石橋 直樹	〒050-0071 室蘭市水元町36-8	0143-44-2994
71	医療法人五紀会 室蘭太平洋病院 <a href="http://taiheiyo.jp/">http://taiheiyo.jp/</a>	理事長 伊藤 真義	〒050-0054 室蘭市白鳥台5丁目19番2号	0143-59-2211
72	(公財) 室蘭テクノセンター <a href="http://www.murotech.or.jp/">http://www.murotech.or.jp/</a>	理事長 栗林 和徳	〒050-0083 室蘭市東町4丁目28番1号	0143-45-1188
室蘭地域の中小企業振興の中核的支援機関として、室蘭工業大学や行政機関、金融機関等との連携を図りながら、各種の支援制度を活用し、ものづくり企業の技術力向上、新製品・新技術の開発、市場開拓、省エネ診断、講演会の開催、知的財産の相談など、各種の支援事業を行っている。				

73	(株)メイセイ・エンジニアリング http://www.mec-eng.co.jp/	代表取締役社長 西湯 勝	〒050-0074 室蘭市中島町3丁目11番2号	0143-43-8113
1) 橋梁の設計(予備・詳細・補修)、2) 道路の設計(概略・予備・詳細)、 3) 港湾・漁港・海岸構造物の設計、4) 一般構造物の設計(函渠・擁壁・法面工・雪崩予防施設・基礎工・その他道路付帯施設)、 5) 河川、水路等の構造物設計(排水・樋門等)、 6) 測量(基準点・水準・路線・用地等)、 7) 地質調査、8) 環境調査、9) 施工管理				
74	(株)モノリス http://www.jing.co.jp/monolith/	代表取締役社長 藤瀬 秀昭	〒050-0087 室蘭市仲町12番地	0143-44-5002
日本製鉄(株)室蘭製鉄所構内において、大型ボイラー設備など製鉄プラント設備の設計・施工・修繕から秤量設備、空調設備などの設置メンテナンスなど中心に、胆振管内を拠点とした事業活動を展開しております。 また耐摩耗ファイブセラミック配管の設計製作を行っており、全国各地の火力発電所に製品を納入しております。				
75	大和工業(株) http://www.f-yamato.co.jp/	代表取締役社長 黒龍 雅英	〒050-0085 室蘭市輪西町1丁目4番8号	0143-44-2664
弊社は昭和25年の創立以来、耐火物施工、鋼構造物施工等の業務を受注してまいりましたが、これと同時に大型窯炉設備の建設にも参加し、国内製鐵所の高炉、コークス炉等の建設に携わって参りました。 今後も技術向上を進め客先のご要望にお応えする所存です。				
76	(株)ワールド山内 http://www.world-yamauchi.co.jp	代表取締役社長 山内 雄矢	〒061-1274 北広島市大曲工業団地4丁目3-33	011-377-5766
ステンレス製品の高度技術加工 非鉄金属加工、金属加工 レーザー加工、機械加工、切削加工 各種製品の溶接・組立、表面処理、塗装				

## 5. 資料（平成 31 年度）

2019 年 5 月 18 日（土）室蘭民報

# 「AI」共同研究へ

月島機械と室工大連携強化

## 水道設備など 運転最適化

包括協力協定を締結している月島機械（本社東京）と室蘭工業大学は、新たに AI（人工知能）による上下水道設備などの運転最適化の共同研究に乗り出す。産業界の人手不足を背景に、生産設備の省人化や効率化のニーズに、同社の技術ノウハウと同大の AI についての研究知見の融合で応える。

（粟島暁浩、菅原啓）

同社は、社会インフラの業プラントの設備を製造。上下水道設備、暮らしに関わる化学・鉄鋼・食品など産

同大と 2011 年（平成 23 年）人材育成の分野について

て包括協力協定を締結している。共同研究にも取り組んできたが、AI のニーズの高まりや、同社が日本製鋼所室蘭製作所に製造機能を移転したことも重なり、一層の提携強化を目指す。具体的には、同社製の生産設備の運転について、省人化や運転の効率化を図るため、同大の AI、機械学習予測制御の知見を融合。

同社が手掛けたプラントや設備のデータを大学に提供して解析。実装まで可能性を探りながら 3 段階で運転の最適化を図る。

月島機械経営企画部は「大学の AI や予測制御などの研究成果、技術シーズを生かし、製造する上下水道設備や産業プラントに自動化などのプロセスを組み込み、産業界のニーズに応えたい」としている。包括協定に基づき、既に同社の一人が社会人ドクターを取得。今回の共同研究を通じて、さらなる取得や人材育成に力を入れる。

室工大は、社会連携統括本部の傘下に、地方創生研究開発センター（CRD センター）と地域教育・連携

センターに加え、昨年 10 月に地域協働機器センターを新たに設置。地域協働機器センター内の六つのラボのうち、「地域協働 AI ラボ」が中心となり、3 センターの連携で今回の共同研究を進める。同大の AI 分野の知見は、既に温室栽培の設備などで企業との共同研究の実績がある。

同大 CRD センターの吉成哲センター長は「月島機械の持つ豊富なデータやノウハウと、大学の知見という双方の持ち味が生きる取り組み」と期待し「今回を機に一層連携を強め、社会ニーズに応えるためサポートしたい」としている。

## 室工大人材、ものづくりの要に

### 2060年見据えビジョン発表

室蘭工大は12日、40年後の北海道に向け、同大が果たすべき役割を定めた長期戦略「北海道MONOづくりにビジョン2060」を発表した。

ビジョンは4月に工学部を理工学部へ改組したのに合わせて策定。元北大学長の丹保憲仁さんら産官学の8人で構成する外部組織「賢人会議」で1月から議

論してもらい意見を反映させた。

ビジョンでは、40年後の北海道について、例えば3Dプリンターが普及するとデータさえあれば道内各地で物づくりができるようになるなど情報の役割が極めて大きくなると想定。人口や化石燃料も減少する中、情報ネットワークを使って地域を持続させる必要

があるとした。

40年後の社会を支えるため、同大が情報とエネルギーの両方に精通した人材を育成することや多様な資源を再利用する技術開発などが重要だと提言した。

空閑長寿学長は「ビジョンを元に地域に貢献できる研究成果を出していきたい」と話した。ビジョンは今後、同大のホームページなどで公開する。

(鹿内朗代)

# キメラ、道内中小企業初 室蘭

## 「航空認証」取得に着手

JISQ9100



JISQ9100の認証取得に着手したキメラ。打ち合わせする藤井代表取締役(左)ら

室蘭市の精密金型部品金型製造のキメラ(藤井徹也代表取締役)は、航空宇宙産業の品質管理規格「JISQ9100」の認証取得に着手した。道内の中小企業では初めて。社内に航空宇宙事業部を新設し、同産業の品質保証の専門集団・名古屋品証研(愛知県)の指導を受けており、来年6月の取得を目指す。(粟島隆浩)

同社は、自動車関連や電子工学分野の各種精密金型部品の製造を担い、微細加工を得意とする。既に航空機分野では2017年(平成29年)の国のマッチング事業で関東の企業から、航空機エンジンの整備に使う精密治具を定期受注している。認証取得により、社内

得するのは金属の研削で、技術力の向上、業容の拡大を図る。認証に向けては、社内15人による航空宇宙事業部マネージャー、加工技術者などを設置。今年6月末以降、名古屋品証研による指導支援を月1回、2日間のペースで受けている。認証取得するのには金属の研削で、技術力の向上、業容の拡大を図る。認証に向けては、社内15人による航空宇宙事業部マネージャー、加工技術者などを設置。今年6月末以降、名古屋品証研による指導支援を月1回、2日間のペースで受けている。認証取得するのには金属の研削で、

今後詳細を詰めていく。来年1月から外部審査を受け、同6月の認証取得を目指す。同社の藤井代表取締役は、航空宇宙分野への参入は受注機会を広げる取り組みの一つと位置付ける。元々、精密加工は製造に高いモラルが求められる。認証取得で技術力と品質保証の地力が一層上がる期待があるという。難しいからこぎやる。仕事は自分たちから取りに行くのがキメラと強調。取得後は、他企業に積極的に情報を提供し、「道内企業で航空機の仕事が受けられるようにしたい」と考えた。プロジェクトを推進する赤塚良和ゼネラルマネージャーは室工大出身で17年目。一貫して設計図面、制御プログラムを作成するCAD、CAMに取り組んできた。「新しい分野への挑戦はやりがいがある。やり抜きたい」と意欲を燃やしている。

道内では、日本製鋼所航空機事業推進室、大手傘下の北海道イグル(長万部町)が同認証を取得しているが、道内中小企業での取得着手はキメラが初となる。



# 室工大と日本製鋼所が協定 産学連携へ思惑一致



協定締結を発表する記者会見に臨む室蘭工業大の空閑良寿学長（左）と日本製鋼所室蘭製作所の岩本隆志所長

## 研究力で貢献、存在感 省力化・自動化で突破口

室蘭工業大（空閑良寿学長）と日本製鋼所（東京、宮内直孝社長）は11日、包括連携研究協力などに関する協定を結び、室蘭市内で記者会見を行った。原発関連の受注減の苦境打開を目指す日鋼室蘭製作所（岩本隆志所長）と、大学再編の中で存在感を高めた室工大の両者の思惑が一致した。互いのメリットにつなげるには、具体的な成果を上げられるかが鍵となる。（栗田直樹）

「事業環境が変わり、原  
子力が低迷している。生産  
性を高め、低コストでモノ  
をつくる体質が重要だ」  
同製作所での記者会見  
で、岩本所長はこう強調し  
た。同席した空閑学長もロ  
ケット開発のベンチャー企  
業「インターステラテクノ  
ロジズ（IST）」と8月  
に共同研究契約を結んだ実  
績を紹介し「大学の存在感  
をアピールして研究力を売  
りたい」と躍起だ。  
室蘭を代表する企業と大  
学が「組織対組織」の包括  
連携に踏み込んだのは、両  
者の危機感の表れだ。日本  
製鋼所は東京電力福島第1  
原発事故の影響で、主力の  
原発関連の受注が減少し、  
航空機産業などへの進出を

図る。一方、室工大も少子  
化が進む中、4月に理工学  
部をスタートさせ、知名度  
向上を模索中だ。  
両者は共同研究のテーマ  
に、鉄鋼の原料配分の最適  
化や生産工程の省人化・自  
動化などを掲げた。ペテラ  
ン社員らの経験と勘に頼っ  
てきたデータは膨大にあ  
り、室工大が強化する情報  
技術関連の研究者にとって  
「宝の山」（船水尚行副学  
長）。一方、IT分野の新  
規投資はハードルが高いだ  
けに、同社は「属人的な技  
能から脱却し、若い人にも  
できるようAI化への一歩  
にしたい」（岩本所長）と  
大学の研究力に期待する。  
空閑学長は会見で「果実  
がないと続かない面はあ  
る」とも語った。人手不足  
が深刻化する中、日本製鋼  
所の品質向上とコスト削減  
を両立できる突破口を見い  
出すことができるか。今回  
の産学連携の成否は、製造  
業のマチ・室蘭の活性化を  
も左右する。

## ビックボイス 室蘭に拠点開設

# 「製品開発3年以内」

### 市長に報告 産学官連携目指す

システム開発のビックボイス(東京)が4日、室蘭市の室蘭テクノセンター(東町)内に研究開発拠点を開設した。市や室蘭工業大との産学官連携で、人工知能(AI)やIoT(モノのインターネット)を活用し、ものづくり現場の省力化や自動化を促す技術開発を図る。同社の佐々木治郎社長(51)らは同日、市役所で青山剛市長に拠点開設を報告し「3年以内」に製品開発したいとの考えを伝えた。

(栗田直樹)

室蘭市役所での懇談後、握手する(右から)室蘭テクノセンターの栗林和徳理事長、ビックボイスの佐々木治郎社長、青山剛市長、室工大の船水尚行副学長



佐々木社長は、2012年のビックボイス創業前から室蘭市職員と交流があり、生産現場でのIT活用は今後の成長分野とみて、市の誘致に応えた。新たな拠点は「室蘭IoTラボ」と名付け、当面は幹部が出張して業務を行うが、室蘭出身者ら3人程度を採用し、将来的には10〜30人規模に増やしたいという。道内拠点は札幌、函館、芦別に次いで4カ所目となる。同社は企業で使う業務システムの開発を主力にしてきたが、室蘭ではAIやロボット技術を使って、生産現場の課題解決につなげる。製品案として、研磨作業の自動化や不良製品の検出を行うロボット、ゴーグル型の仮想現実(VR)機器で、ベテラン技術者のノウハウを体験できる研修用システムなどを紹介した。進出先の候補として、留萌市や出身地の旭川市などもあった中で、室蘭を選んだ佐々木社長は「室蘭工業

大があり、(新分野に)挑戦できるすべての環境が室蘭にはある。市の発展に貢献できるような頑張りたい」と、産学官連携に踏み出す抱負を語った。青山市長は、製造業のマチへのIT企業進出を歓迎し「産学官がタッグを組んで、まちづくりを進めていきたい」と述べた。

同席した室工大の船水尚行副学長は「本学の特許も活用し共同開発に取り組みたい」、室蘭テクノセンター理事長の栗林和徳・室蘭商工会議所会頭は「いろいろなニーズに対するソリューション(課題解決策)を生み出してほしい」とそれぞれ話した。





# ロボ開発の最前線解説

室蘭・フロンティア検討会

## 製造業や技術者ら集う

室蘭地域産学官連携事業  
実行委員会主催の第31回フ  
ロンティア技術検討会が30  
日、室蘭市宮の森町の蓬岫  
殿で開かれ、室蘭工業大学  
をはじめ、道内で取り組ま  
れている生産性向上や省力  
化に向けたロボット技術、  
次世代型災害支援システム  
の研究開発の動向を紹介し  
た。

市内の製造業や技術者ら  
約100人が参加。室工大

道内のロボット研究開発  
の最前線に理解を深めた  
フロンティア技術検討会

の教授ら3人が、それぞれ  
の研究内容や事業成果を報  
告した。

室工大の花島直彦教授  
(創造工学科)は、車両型ロボ  
ットによるナビゲーション  
技術(自動運転制御)や、イン  
フラ点検ロボットの研究状  
況を説明。車両型ロボット  
に後退や経路追従、障害物  
回避などの制御を学習させ  
て走行する実証実験の様子  
を動画を使って説明した。

道立総合研究機構工業試  
験場(札幌市)の井川久研  
究主任は、同試験場が取り  
組む食品加工用ジャガイモ

の芽取りラインの自動化シ  
ステムや、牧草の刈り取り  
などの作業を無人の農業ト  
ラクターで行う技術開発の  
状況を解説した。

室工大の菅原雄教授(シ

ステム理化学科)は、次世  
代型災害支援システム「天  
・地・人」の概要を紹介。  
自然災害によつて通信回線  
が遮断されても、個人が持  
つ端末同士やドローンを介  
して外部との通信を可能に  
し、迅速な救援活動を支援  
する仕組みを説明した。

参加者らは、少子高齢社  
会を迎え、産業界だけでな  
くあらゆる分野で人手不足  
が深刻化する中、ロボット  
やシステム技術の開発の発  
展に期待や関心を高めてい  
た。(菅原啓)



## 人手不足を補う 先端機器に注目

### 札幌でビジネスEXPO

道内最大級のビジネスイベント「第33回北海道技術・ビジネス交流会(ビジネスEXPO)」が7日、札幌市白石区のアクセスサッポロで始まった。道内外の335社・団体が出展し、来場者に自社の先端技術や新製品の魅力をPRした。

北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)などで行く実行委の主催。会場では、人を追従走行して荷物を搬送する台車や人工知能(AI)が自ら学習する「ディープラーニング(深層学習)」機能を活用して商品の傷や汚れを判別するロボット、商品を分野別に自動で仕分ける

トレーに載せた商品を自動で仕分ける機械など、人手不足解消につながる製品に注目が集まった会場



機械などを展示。道内企業にとっても大きな課題である人手不足解消や作業効率化につながる製品に注目が集まっていた。

最終日の8日は午前9時半〜午後5時。入場無料。

(岩内江平)

# 新会社「コアラボ」設立

## 室工大研究者らの多機能粒状消石灰開発事業

### 製品実用化に目途

### 20年度中の販売目指す

室蘭工業大学の山中真也准教授(粉体工学)ら研究者と道内企業のチームによる多機能粒状消石灰開発事業で、家畜伝染病の予防用の新たな消石灰と、効き目を見えるようにする化学製品の实用化にめどが付いたことを受け、新会社「コアラボ」を設立したことが28日、明らかになった。2020年度(令和2年度)の販売開始を目指す。

(粟島暁浩)



同日、登別市内で開かれた同事業の報告会で公表された。株式会社コアラボは昨年12月24日に設立。代表は札幌の企業・コアの中野浩幸常務取締役が就き、同社の中野誠一代表取締役、山中准教授と徳薬清孝(生物学)、上井幸司(薬学)の同大の両准教授がメンバー。本社は室蘭市中島町に置く。

新会社の核となる技術は、14年(平成26年)から産学官で取り組んできた新消石灰開発事業から生まれた。

具体的には、家畜に甚大な被害を及ぼす口蹄疫や鳥

新会社設立など新消石灰開発事業について報告する室工大の研究者ら

インフルエンザなど伝染病の防疫のため、農業者などが散布する消石灰に着目。既製品は効き目が見えないことから、色が変わることで効果が目に見え、粉から粒状にすることで従来品より長持ちする製品の实用化を研究してきた。

同社が販売を目指すのは、開発した長寿命で風で飛散しにくい粒状消石灰と、色素などを配合し消毒効果が薄れると色が変わる化学製品。昨年中に製品化のめどが付き、20年度中の販売を目指す。

同日、消石灰事業の最終報告が登別温泉町の滝本インで行われ、成果を公表。道内や宮崎県など全国の農業者ら800戸での消石灰散布の目標を来月中に達成できる見通しを示し、同事業のため大学内に整備したパイロットプラントは年産550トンの能力を達成。プラントの全国展開も視野に入れていると報告した。

研究総括者の山中准教授は「これまでの事業で実現できていない部分もまだある。豚コレラなどの防疫を含め、消石灰が世界標準になるよう科学的根拠を持ち畜産衛生と予防の徹底に貢献したい」としている。



# 室蘭テクノセンター存在感

## 企業相次ぎ誘致 大手と連携協定

西胆振の企業支援拠点「公益財団法人室蘭テクノセンター」(栗林和徳理事長)が、企業誘致や産学官連携で存在感を高めている。昨年からは室蘭市と協力し、東京の製造業やIT企業の事業所をセンター内に誘致。大手企業と包括連携協定を結ぶなど、地域経済の活性化を加速させる姿勢を鮮明にしている。

(栗田直樹)

## 地元企業・大学に橋渡し

室蘭テクノセンターは室蘭、登別、伊達の3市などの出資を受け、1986年に設立した第三セクター。西胆振の企業の技術・製品開発や産学官連携の支援を主に展開している。

同センターには昨年3月、産業機械製造の精電舎電子工業(東京)が室蘭事務所の設立準備室を、シス

テム開発のビックボイス(東京)は同10月、道内4カ所目となる拠点「室蘭IoTラボ」をそれぞれ開設した。室蘭市と連携した誘致策が早速実を結んだ形だ。

こうした企業が求めるのは、室蘭テクノセンターがもつ室蘭工業大や地場製造業とのパイプの太さだ。30

年以上、室工天や専門機関、地元企業との「橋渡し役」として、大手企業出身のコーディネーターらが技術や製品の開発を支援し、相談・助言などを行う。

近年も国の補助事業に採択され、同大とテクノセンター、部品製造のトーフレ(大阪)が水素ステーションで用いる金属製フレキシブルホースを協力して開発中。関連部品には、地元から旋盤加工の永沢機械(室蘭)や機械商社の佐々木機



地域活性化の推進役としての存在感を高めつつある室蘭テクノセンター

日動火災保険北海道支店と包括的連携協定を結び、キャリア教育や海外展開、事業継続計画(BCCP)策定などに関して連携して取り組む方針だ。

工(同)も関わった。上限が5万円から200万円までの補助メニューをそろえる「ものづくり創出支援事業」の本年度の採択案件は38件に達し、前年度(29件)を大幅に上回る。補助対象がものづくりだけでなく、食品や市場開拓、人材育成まで幅広く、企業サイドから好評だ。

一方、昨年10月、室蘭テクノセンターは、東京海上

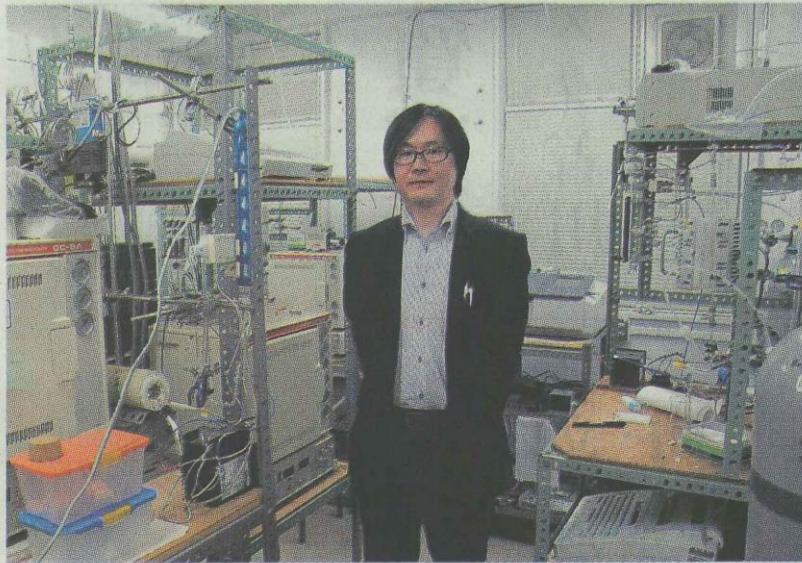


室蘭工業大学(空閑良壽学長)は4日、国内大手総合化学メーカーの住友化学(本社東京)と廃プラスチックを化学的に分解し、石油化学製品の原料として再利用する「ケミカルリサイクル技術」に関する共同研究を推進すると発表した。工大発の技術が環境負荷軽減をはじめとするさまざまな社会的課題の解決につながることを期待されている。

現在、廃プラスチックによる環境負荷や石油化学製品製造に伴う温室効果ガスの増加は、大きな社会問題となっている。プラスチックは燃やすと二酸化炭素が大量に排出されるほか、熱分解で抽出される油にはさまざまな成分が含まれており、再利用時に使い勝手が悪いという。

こうした中、同大学院工学研究科の上道芳夫名誉教授

## ケミカルリサイクル技術 共同研究を推進へ



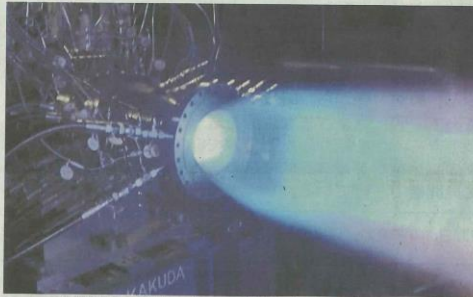
「工大発の技術で社会に貢献したい」と語る神田准教授

室工大、住友化学と

と神田康晴准教授が開発した廃プラスチックの分解技術は、触媒で化学反応を制御することで、化学原料やプラスチック原料として再利用を進められると、住友化学などから注目された。2018年(平成30年)に同社から打診があり、昨年4月から共同研究がスタートした。

神田准教授は「廃プラスチックを分解する研究は、もとも上道名誉教授が学生時代から40年以上取り組んできた内容を、私が引き継いだ。現在は研究室レベルでの成果だが、徐々にスケールアップして実証レベルに近づけていく。室工大発の技術を社会に貢献できる段階まで進めることで、人類にとっても地球環境にとってもプラスになればと思う」と展望を語った。

(北川誠)



JAXA角田宇宙センターで実施したインジェクターの燃焼実験。LNGエンジンの開発にめどを付けた  
(IST、JAXA提供)

【大樹】十勝管内大樹町のベンチャー企業インターステラテクノロジズ(IST、稲川貴大社長)は、2023年に打ち上げ予定の人工衛星搭載用ロケットZERO(ゼロ)の推進剤に液化天然ガス(LNG)を選び、宇宙航空研究機構(JAXA)とエンジン(燃料噴射装置)の燃焼実験を行った。室蘭工業大と共同研究中の部品も性能が確認され、ゼロの研究開発は大きく前進した。

### 新型ロケットに液化天然ガス

大樹で開発 実現すれば国内初

### 室工大との共同研究も着々

LNGを使った国産ロケット開発は09年にJAXA、IH1などの開発計画が中止されて以来で、実現すれば国内初となる。ISTは本年度からJAXA角田宇宙センター(宮城県角田市)で、LNGの主成分メタンを使ったインジェクターの共同研究に着手。1月下旬から月末に最大15秒間の燃焼実験を実施し、技術的なめどを付けた。

一方、エンジンに高圧で推進剤を供給する主要部品「ターボポンプ」は、昨秋から室蘭工業大と共に「インジェクター」の性能確認試験を行い、「ほぼ想定通りの結果が得られた」と(IST)。インジェクターは推進剤の「吸い込み」に当たり、ターボポンプの性能を左右する最重要部品。すでに室蘭市内の精密金型製造業「キメラ」に依頼し、機体に搭載できる手のひらサイズの試作品も完成している。

ISTは引き続き室蘭工業大、JAXAとターボポンプの基本設計を行うほか、エンジンの外側に配管を巡らせ、冷たい推進剤で燃焼室の破損を防ぐ「再生冷却システム」の研究開発も進める。責任者の金井竜一朗さんは「共同研究でエンジン開発の手応えを得られた。バイオガスの活用も考えていく」と話している。

(大能伸悟)



室工大

新薬剤製造販売の「コアラボ」

# 大学発ベンチャー初認定

室蘭工業大学は16日、家畜伝染病対策で使用される消石灰の効き目が見える新開発の薬剤を製造販売する新会社「コアラボ」を、大学発ベンチャーに初めて認定した。同大の山中真也准教授(粉体工学)ら研究者と道内企業チームの研究成果による会社で、開発した薬剤は同日付で特許を出願。来月の発売を目指す。

株式会社コアラボは昨年12月設立。札幌の企業・コアの中野浩幸常務取締役が

代表に就き、山中准教授ら同大3研究者がメンバー。口蹄疫や鳥インフルエンザなどの防疫に向けた多機能粒状消石灰の研究で開発したリトマス液をベースにした薬剤の製造販売を担う。具体的には、散布した消石灰にこの薬剤を振り掛けると、効果があるアルカリ状態は青、効き目が失われた弱アルカリでは赤になり、追加散布が必要なタイミングが分かる。25ccを2600円(税抜き)で来月か

らの販売を目指す。

多機能粒状消石灰研究のリーダーで同社取締役の山中准教授は「消毒効果を見える化した薬剤を使っていたことで、消石灰の普及につながる。広く家畜伝染病予防に貢献したい」としている。

同大は昨年3月、室工大発ベンチャーの称号を付与する規定を新たに設け、16日付で「コアラボ」を第1号に認定した。

(栗島暁浩)

# 室蘭の4社 航空宇宙産業ネット設立

## ものづくりのマチ スクラム



室蘭航空宇宙産業ネットワークの発足発表で握手を交わす(左から)キメラの藤井社長、今野鉄工所の今野社長、永沢機械の永沢社長、ミヤタ技研工業の宮田社長、室蘭市の青山市長

### 発注元へ営業強化

室蘭市内の製造業4社が26日、航空機関連部品などの共同受注に向け「室蘭航空宇宙産業ネットワーク」を発足させた。ものづくりのマチの中小企業がスクラムを組んで、大手製造業者に技術力の高さをアピールする。市も同ネットワークを全面的に支援する考えだ。

(田中雅久)

キメラ(香川町)の藤井徹也社長、今野鉄工所(港北町)の今野香澄社長、永沢機械(東町)の永沢優社長、ミヤタ技研工業(崎守町)の宮田賢治社長が同日、市役所で共同発表した。各社はそれぞれ、航空機の関連部品やエンジン整備に使う機材などを個別に受注してきた。ネットワークをつくることで、部品の発注元への営業活動を強化する。代表を務めるキメラの藤井社長は「勉強会や研究会とは一線を画したグループになる」と説明。「経験は足りないが、営業活動で得た経験と知識を共通財産として生かす」と述べた。ネットワークは航空宇宙産業の中でも、まずは航空

機に注力する。その上で鍵となるのが国際認証「JIS Q9100」の取得だ。機体部品の製造への参入には、この品質管理規格が欠かせない。藤井社長はこの日、「6月に認証が取得できる見込みだ」と明らかにした。永沢機械も4月から取得に向けて動き出す方針だ。

発注の呼び掛け人でもある同社の永沢社長は、「1歩でも2歩でも前に進みたい。足跡ができればと後ろの人に道案内ができる」と独特の表現で意義を強調した。他に賛同する企業があれば、連携する可能性もあるという。今野鉄工所は飛行場の地上支援機材の部品製造で実績を積んでおり、今野社長は「(他の3社と)協力して新たなモノができるのか考えながらやりたい」と期待感を示した。ミヤタ技研工業の宮田社長は「社員に話をしたら『挑戦してみたい』という声があった」と紹介し、航空機産業への参入が市内の士気を高めるとした。

会員に同席した室蘭市の青山市長は、航空宇宙産業について「室蘭のものづくりの一つの大きな屋台骨」と表現。市は2018年度から、航空機産業への参入支援を行い、新年度には人事交流で北海道経済産業局から職員1人を受け入れる。青山市長は「市としてもサポートしていきたい」と述べた。



# 橋梁技術「ものづくり大賞」優秀賞

## 室蘭の檜崎製作所

製造現場での先端技術開発などをたたえる「第8回ものづくり日本大賞」(経済産業省など4省主催)の優秀賞に檜崎製作所(室蘭、小椋義隆社長)が選ばれ、社員5人が表彰された。新素材「二相ステンレス鋼」を使った橋梁技術が評価された。  
(今関茉莉)

表彰されたのは同社の香川眞治さん、塚島朗さん、羽生純司さん、小向和也さん、池下雄哉さん。香川さんらは耐腐食性能に優れた「二相ステンレス鋼」を使った橋梁技術を開発。鳥取の橋脚遺構を保全するための



賞状を受け取る檜崎製作所の塚島朗さん(左)

## 鳥取城の擬宝珠橋 新素材で復元



鳥取城の内堀に架かる擬宝珠橋の工事中の様子。木造の橋が載る水中の梁は目立たないように黒く塗られている(檜崎製作所提供)

に、水中に檜崎製作所が手がけた「二相ステンレス鋼製の梁を設置。その上に木造の橋を載せる世界初の工法「ハイブリッド工法(二重橋)」を採用した。橋は全長36㍎で、文化庁が認めた城郭復元橋としては国内最長という。

「二相ステンレス鋼は、耐食性に優れ、高強度な素材。ただ、新しい素材のためデータがなく、普通のステンレスより加工が難しい。羽生さんは「想定ができない上に、新素材なので出回っている量も少ないため、何度も何度も実験できない。緊張感があった」と振り返る。

表彰式は24日に檜崎製作所本社で行われ、出向中の香川さんを除く4人が参加。北海道経済産業局の小貫秀治地域経済部次長が一人一人に賞状を手渡した。式後、小貫次長は「造船などで培った技術を生かし、新しい取り組みで地域課題を解決した。このような取り組みが今後も広がっていくことを期待したい」と話した。ものづくり日本大賞は、製造・生産現場や伝統技術の分野で優れた技術者や団体を表彰する制度。隔年で行われている。このほか、経産局が表彰する地域貢献賞にアイシジャパン(室蘭市中島町)、室蘭工業大学主導の特殊鋳物協同組合(鋳物シンシケート)が選ばれた。





室蘭工業大学  
地方創生研究開発センター  
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号  
URL <http://www.muroran-it.ac.jp/crd/>  
E-mail: [crd@mmm.muroran-it.ac.jp](mailto:crd@mmm.muroran-it.ac.jp)  
TEL. (0143) 46-5860  
FAX. (0143) 46-5879